

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
	(1) 経済学部経済経営学科を設置する大学等の現状把握・分析.....	2
	(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析	2
	(3) 経済学部経済経営学科の趣旨目的, 教育内容, 定員設定等.....	3
	(4) 学生確保の見通し	5
	(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	14
2	人材需要の動向等社会の養成	16
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)	16
	(2) 上記(1)が社会的, 地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観 的な根拠.....	16

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 経済学部経済経営学科を設置する大学等の現状把握・分析

富山大学経済学部は、経済学科、経営学科、経営法学科の3学科から構成され、その下に5つの履修コースを設けている。学位については、学科ごとに、経済学科では学士(経済学)、経営学科では学士(経営学)、経営法学科では学士(法学)を授与する体制となっている。

今日の社会的なデータサイエンス人材の需要の増加に対応して、令和4年度から履修コース制の再編を行い、社会データサイエンスコースを設けデータサイエンス教育を推進している。しかしながら、コースは選択制のため、学生が自ら希望しなければ、データサイエンススキルを身に付けることができないという課題がある。

そのため、社会データサイエンスコースを全学生が受講する学部共通のコースと設定することも検討したが、現在の3学科の教育体制では、教員が学科ごとの縦割りで管理されており、科目編成はそれぞれに学科でなされるため、教員が学科を越えて合同で教育プログラムの作成を行うことは困難である。

また、各学科で異なる学位を授与するため、自学科専門科目の履修に重きが置かれており、経済学部の学生全てに今まで以上の十分なデータサイエンス教育や領域横断的な教育を行うことができないことも課題の一つとなっている。

以上のような課題を解決するために、3学科制から1学科(経済経営学科)1学位(学士(経済経営学))へ改組することで、社会科学分野の知識を統合し、データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材をより効率的かつ効果的に育成し、社会・地域のニーズに応えることができるようになることを考えるものである。

(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析

今日的な環境下において、従来とは抜本的に異なる新たな価値を作り出していくために、企業そして行政機関の双方において、デジタル技術の活用が喫緊の課題となっている。しかしながら、デジタル技術に対応した先端IT人材が2030年には54.5万人不足するとの調査結果や、わが国企業がDX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組みを進める際に人材不足を挙げる企業が53.1%と欧米企業の倍近くなっているとの結果から(教育未来創造会議2022年)、この分野での人材不足は相当深刻であることがわかる。

こうした動向に対応し、地方自治体でもデジタル技術の活用推進に積極的に取り組んでおり、富山県では2021年、重要課題への取組みを部局横断的に推進する知事政策局にデジタル化推進室が新設され、県の産業や地域社会の振興を図るべく、行政のDXや産業・地域社会のDX、DX人材の育成を行っている。富山市では、新設した「スマートシティ推進課」を中心に「富山市版スマートシティ」を推進しており、「富山市センサーネットワーク」で得られたデータを各種業務に活用するとともに、民間企業等にも富山市センサーネットワークをIoT実証実験環境として提供し、産業の活性化へ繋げる取り組みが行われている。(株)日本政策投資銀行北陸支店「企業行動に関する意識調査」によると、北陸の企業にとって

長期的に必要となる職能人材として、製造業では「AI・IoT人材」が約50%と最も多く、非製造業においても高い割合を占め、データ分析などを担うAI・IoT人材の需要は今後さらに高まるものと見込まれており、北陸地域の企業においてもデジタル人材に対するニーズは高まっている。

このような背景のもとで、地方自治体、民間企業を問わずデータサイエンス（DS）の素養を身に付けることが求められているが、特に、県内企業においては、分析したデータをビジネスにつなげていく能力を持つ人材の育成、データを分析し、意味を持たせ、価値を生み出す人材の育成が必要とされている。（富山経済同友会提言「デジタル化推進による地域創成～「デジタル・ワンチーム」とやま～」2021年）

地域社会におけるこのような状況からも、3学科制から1学科制への改組を通じて、社会科学分野の知識を統合し、データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材をより効率的かつ効果的に育成し、社会・地域のニーズに応えることが必要であると考えられる。

（3）経済学部経済経営学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等

1）趣旨目的、教育内容

少子高齢化と人口減少が急速に進み、また国際的な産業競争力の低下が顕著にみられる中で、企業においては生産性や収益性の向上、新製品・サービス・事業の開発、環境問題への対応などが求められている。行政機関においては、まちづくり戦略、地域のブランディング、新産業の創出、スタートアップ支援など、地域の魅力を活かした経済活動が求められている。こうした今日の多様化・複雑化したビジネス・社会課題の解決のためには、これまで以上に、経済学・経営学双方にまたがる深い理解と幅広い知識が不可欠であると同時に、従来とは抜本的に異なる新たな価値を作り出していくために、データを分析・活用して課題を解決できる人材が強く求められている。

今回の改組では、こうした社会的ニーズに対応するため、経済・経営分野の高い専門性と分野横断的な幅広い知識を持ちつつ、データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材を養成することを目的として、現在の3学科3学位体制から「経済経営学科」の1学科1学位（学士「経済経営学」）体制へと改組したうえで、1学科の下に人材の輩出先に対応した教育を行うための以下の3つのプログラムを設けている。

- ① 経済活動や法制度に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、公共政策の立案・実装に貢献できる人材を養成する「公共政策プログラム」。
- ② 企業経営や経済活動に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、企業経営に関わる諸課題を解決できる人材を養成する「企業経営プログラム」。
- ③ データサイエンスの専門的能力を備え、企業経営や公共政策の意志決定に直結する応用力を身に付けた人材を養成する「経済データサイエンスプログラム」。

現在の3学科の教育体制では、教員が学科ごとの縦割りで管理されており、科目編成はそれぞれに学科でなされるため、教員が学科を越えて合同で教育プログラムの作成を行うことは困難であり、また、各学科で異なる学位を授与するため、自学科専門科目の履修に重き

が置かれており、経済学部 of 学生全てに今まで以上の十分なデータサイエンス教育や領域横断的な教育を行うことができないことも課題の一つであった。

したがって、経済学部を従前の3学科制から1学科制へ改組することで、社会科学分野の知識を統合し、データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材をより効果的かつ効果的に育成し、社会・地域のニーズに応えることができるようになる。

このような新しい体制のもとで行う教育課程の編成の特色は以下のとおりである。

a) 体系化された教育課程の編成

- i) 1年次において社会科学系とデータサイエンス系の入門科目を必修として学ぶとともに、経済・経営系の「共通基盤科目」を選択必修で学修する
- ii) 2年次から、明確な人材の養成を目指した上記3つのプログラムのうち一つに所属する。
- iii) 2年次以降、社会科学の知識を体系化し、卒業研究を深化させるためのプログラム基礎科目、プログラム発展科目を学ぶ。
- iv) また、自らのキャリアを見据えながら、プログラムの枠を越えて他プログラムの基礎・発展科目を領域横断的に学修する。
- v) プログラムに所属後、提供される年次ゼミナールを履修し、社会課題を解決するための実践的な能力を養う。

b) 切れ目のない少人数教育

1~4年次まで続く切れ目のない少人数教育（ゼミナール）を開講する。すなわち、1年次1・2タームのスタートアップゼミナール、同年3・4タームの初年次ゼミナール、2年次~4年次までの学年別ゼミナールである。

c) 入学後に専門分野を決定（レイトスペシャライゼーション）

入学後の2年次から専門分野／プログラムを決定（レイトスペシャライゼーション）することにより、単線型の教育からより柔軟に学生の志向に応じた学びへと転換する。また、3年次には所属するプログラムの変更を希望する学生に転プログラムを認める制度を設けることで、自らの興味・関心にしたがった専門分野の確立と学修を可能にする。

d) 社会科学分野とデータサイエンス分野を複合的に学修可能な体制

養成する人材像に応じたプログラムを設けることで、経済学部の学生全てに、経済経営の専門性にに基づきながら、データサイエンスの知識・技能を活用することで、複雑高度化した経済社会の問題解決できる能力を培うための教育体制が実現する。

e) 文理融合教育

経済学部と理学部で連携し、データサイエンスならびにSDGsに関する共同開設科目により文理融合教育の充実化を図り、課題解決の基盤となる幅広い知識・視野をもった人材を養成する。

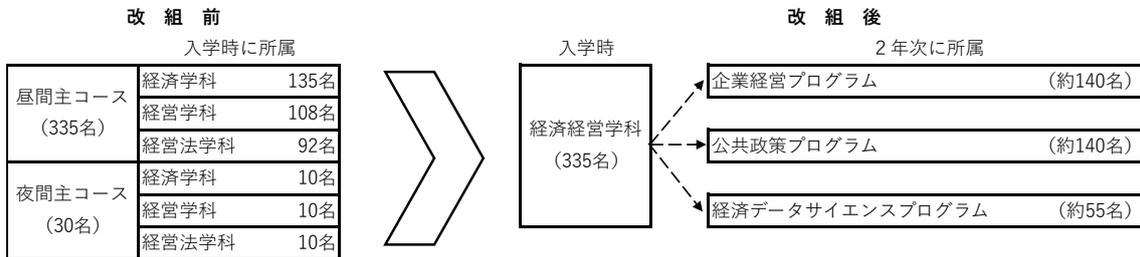
以上のような教育体制と教育課程の編成を通して、今日の社会のニーズに適合した人材を輩出することで、地域社会に対するこれまでの実績をより高めることに繋がるものである。また、社会で必要とされる人材を育成するための魅力的な教育を行うことで、これまで以上に受験生の関心を惹きつけ、志願者の確保に繋がるものと考えている。

2) 定員設定

現在、経済学部は、経済学科、経営学科、経営法学科の3学科で構成され、それぞれに昼間主コースと夜間主コースを有しており、学部全体の入学定員は365名となっている。

改組後は、「経済経営学科」1学科とするが、従来の学科ごとの専門領域を中心とした教育体制から、学科の垣根、すなわち学問分野の垣根を取り払い、今日の社会的ニーズに対応した出口を意識した人材育成型の教育体制への転換を意図したものであり、学部としての教育研究分野は大きく変わらないため、改組前の経済学部と同程度の進学及び就職需要があると考えられる。社会的ニーズを考慮し、今回の改組に併せて、夜間主コース(30名)を廃止することに加え、改組後のカリキュラムに実施に必要な教室や実習室、設備等から総合的に判断した結果、学部全体の入学定員を365名から335名へと変更する。(図表1 参照)

図表1 改組前後の定員



3) 入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

学生納付金については、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」により標準額が定められており、各国立大学法人が一定の範囲内でそれぞれ決定することとなっている。本学は「富山大学における授業料その他の費用に関する規則」【資料1】のとおり、国が定める標準額と同じく年額535,800円、入学金282,000円を設定する。

(4) 学生確保の見通し

1) 学生確保の見通しの調査結果, 2) 新設学部等の分野の動向, 3) 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向, 4) 競合校の状況, 5) 既設学部等の学生確保の状況について、の5つの事項の観点から検討・分析した結果を総合的に判断すると、本学科の入学定員335名は、十分に充足できる見込みがある。

1) 学生確保の見通しの調査結果

改組後の経済学部が高等学校の生徒のニーズと合致していることとともに、改組後の経済学部の定員充足状況を確認するため、本学部に入実績のある高等学校の在学学生(2年生)を対象に改組案に対するアンケート調査を行った。

本アンケート調査は、同時期に改組を進めている理学部と共同で行った(「富山大学経済学部経済経営学科(仮称)及び理学部理学科(仮称)に関するアンケート」)。【資料2】アンケートは過去5年間に両学部もしくはどちらか一方に入実績のある北陸3県と岐阜県、

長野県を加えた5県の34校に対して令和5年2月3日から2月22日まで実施し、4,294名の生徒から回答を得ている。アンケートの実施にあたっては、改組構想について説明する資料【資料4】を配布し、改組の概要と新しい経済学部の特徴を伝え、経済学部への受験意向と入学意向、経済学部の特徴に対する魅力度などを尋ねている。

調査の結果、4,294件の回答が得られた。そのうち、興味のある学問分野を尋ねたところ、学問系統として経済学部の学問分野と関連する「経済学・経営学・商学」は22.6%、「社会学」は7.7%、「法学・政治学」は8.7%、「情報科学・データサイエンス学」は10.2%の回答があった。

今回は、理学部との合同調査ということで、回答者の属性として理学部志望者と経済学部志望者が混在する形となっているため、以下の分析では、「質問6 あなたは、どのような学問に興味がありますか」で「経済学・経営学・商学」「社会学」「法学・政治学」「情報科学・データサイエンス学」のうち少なくとも1つに興味があると回答し、経済学部の設問に対して回答があった1,265名を対象として分析する。

アンケートでは、今回の改組の4つの大きな特色についてその魅力度を尋ねている（質問7～10）。

質問7

「経済・経営・法律の3分野を学べる体制を維持したまま1学科のもと3つのプログラム（企業経営・公共政策・経済データサイエンス）に再編します。入学後に自分の学びたいことや適性を踏まえてプログラムを選択することができるようになります。」

この結果は図表2のとおりであるが、「経済・経営・法律の3分野を学べる体制」であること、「3つのプログラム（企業経営・公共政策・経済データサイエンス）」ができること、「どのプログラムにするかは受験時ではなく入学後に選択」できることに対して、90%の生徒が魅力を感じる（「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計：以下同様）と回答しており、この特色に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

図表2 質問7の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	437	34%
ある程度魅力を感じる	706	56%
あまり魅力を感じない	99	8%
まったく魅力を感じない	23	2%
合計	1,265	—

質問8

「経済・経営・法律の3分野をまとめて1学科となるため、学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身に付けることで、課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うことができます。」

この結果は図表3のとおりであるが、「学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身に付けること」ができること、それによって「課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うこと」ができることに対して、90%の生徒が魅力を感じると回答しており、この特色に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

図表3 質問8の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	451	36%
ある程度魅力を感じる	684	54%
あまり魅力を感じない	106	8%
まったく魅力を感じない	24	2%
合計	1,265	—

質問9

「どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身に付ける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の知識を統合しデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身に付けることができます。」

この結果は図表4のとおりであるが、「データサイエンスの素養を身に付けること」ができること、それを活用して「ビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身に付ける」ができることに対して、89%の生徒が魅力を感じると回答しており、この特色に関して極めて魅力的に映っていることがわかる。

図表4 質問9の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	473	37%
ある程度魅力を感じる	651	52%
あまり魅力を感じない	119	9%
まったく魅力を感じない	22	2%
合計	1,265	—

質問10

「経済データサイエンスプログラムでは、大学院（持続可能社会創成学環社会データサイエンスプログラム）への進学を視野に入れた、より高度なデータサイエンスの知識・技術を身に付けることができます。

この結果は図表5のとおりであるが、「経済DSプログラムでは、より高度なデータサイエンスの知識・技術を身に付けること」ができることに対しても、80%の生徒が魅力を感じると回答しており、データサイエンス教育に対する魅力・関心の高さがうかがえる結果となっている。

図表5 質問10の集計結果

	回答数	構成比
とても魅力を感じる	355	28%
ある程度魅力を感じる	659	52%
あまり魅力を感じない	214	17%
まったく魅力を感じない	37	3%
合計	1,265	—

上記のような改組後の新しい経済学部の特徴を踏まえた上で、本学部を「受験したいと思う」と回答した者は522人であった。この受験意向者522人のうち、「合格したら入学したい」と回答した者471人であり、入学定員数に対する受験意向者数の割合は1.6倍、入学意向者数の割合は1.4倍であった。今回の調査は、北陸3県及び岐阜県、長野県に絞って実施したが、経済学部では約34%（過去4年平均）が今回調査した都道府県以外からの志願者となっている。

図表6 調査対象地域とそれ以外からの前期・後期日程の出願状況（過去4年間平均）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	比率
富山	269	186	168	203	826	23.7%
石川	219	171	148	187	725	20.8%
福井	64	46	36	42	188	5.4%
長野	132	86	64	96	378	10.9%
岐阜	59	32	36	62	189	5.4%
その他都道府県	367	270	180	356	1173	33.7%
合計	1110	791	632	946	3479	100.0%

以上により、改組後の経済学部においても、十分な志願者を確保し、定員を充足できるものと判断する。

2) 新設学部等の分野の動向

今回の改組の柱の一つに、すべての学生にデータサイエンス教育を施し、データサイエンスの素養を持った学生を社会に輩出することがある。今回の改組で設置される3つのプログラムすべてにおいてデータサイエンス教育の充実化を図るとともに、「経済データサイエンスプログラム」では、より高度なデータサイエンス人材の育成を目指している。

データサイエンス人材に対する社会的な必要性は高まるばかりであり、それに伴い、データサイエンス学部を新設したり、データサイエンス教育に力を入れたりする大学が増えてきている。

滋賀大学データサイエンス学部は2017年に日本で初めて設置されたデータサイエンス学部であり、これまで多くの実績を持つ学部であるが、同学部の志願倍率をみると、令和2年度は4.44倍(444名/100名)、令和3年度は4.08倍(408名/100名)、令和4年度が3.71倍(371名/100名)となっており、年々下がってはきているが高い水準を保っている。

また、2018年度設置の横浜市立大学のデータサイエンス学部では、令和2年度は5.02倍(301名/60名)、令和3年度は6.58倍(395名/60名)、令和4年度が5.30倍(318名/60名)となっており、やはり高い水準を保っている。

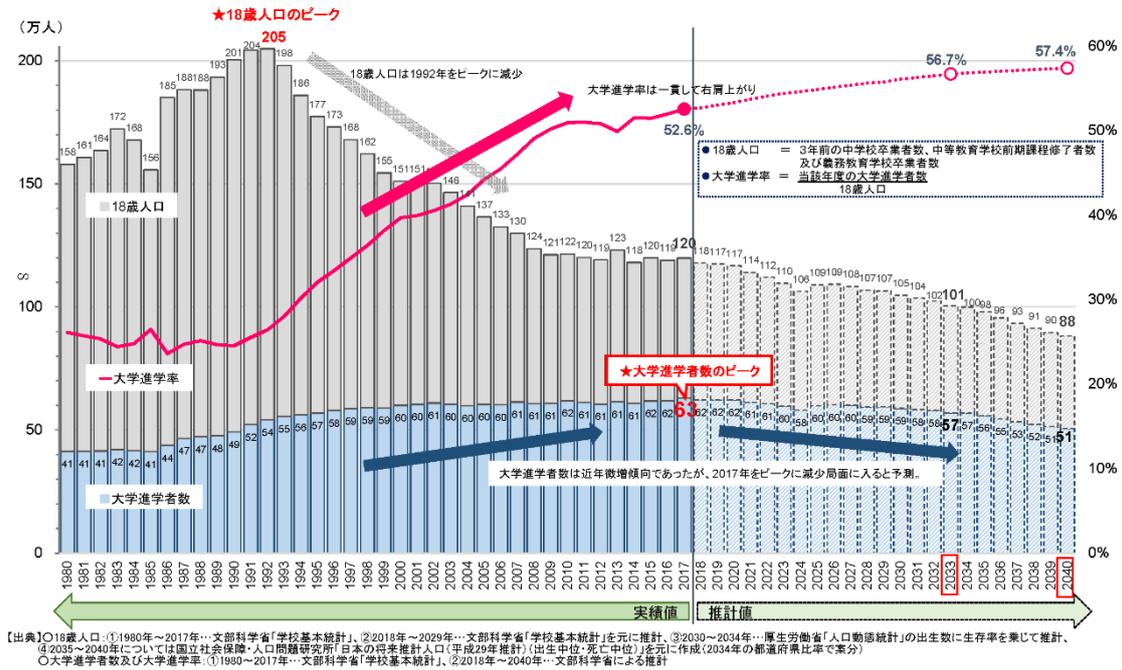
以上のことから、データサイエンスの分野の志願者数は高い水準にあることがわかる。もちろん本学部はデータサイエンス学部ではないが、すべてのプログラムにおいてデータサイエンス教育を重視していること、そして特に「経済データサイエンスプログラム」は大学院の持続可能社会創成学環の社会データサイエンスプログラムに繋がるものであり、より高度なデータサイエンスの学びができるものであることをアピールすることで、データサイエンスに対する需要を取り込むことができ、定員を十分に充足できるものと考えている。

3) 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

全国の18歳人口の推移を見ると、平成30年(2018年)から減少局面に入っており、今後も減少すると予測されている。(図表7参照)

図表7 大学進学者数等の将来推計について

● 18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は一貫して上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2018年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に突入すると予測される。



一方で、2019年の各都道府県における大学進学率は、2005年からすべて増加しており、全国的に大学進学率が上昇している傾向にあることがわかる。本学部志願者の8割強は、東海・北陸・甲信越地域の各県出身者によって占められているが(図表8参照)、同地域においても大学進学率の上昇がみられる。(図表9参照)

図表8 地域別の出願状況

	R1	R2	R3	R4	合計	比率
北海道・東北	24	16	6	28	74	2.1%
関東	47	65	27	53	192	5.5%
甲信越	215	134	83	126	558	16.0%
北陸	552	403	352	432	1,739	50.0%
東海	203	131	123	253	710	20.4%
近畿	49	27	27	38	141	4.1%
中国・四国	5	5	6	7	23	0.7%
九州・沖縄	8	8	6	3	25	0.7%
その他	7	2	2	6	17	0.5%
合計	1,110	791	632	946	3,479	100%

図表9 都道府県別大学進学率の変化

都道府県別の大学進学率（現役進学者のみ）は地域によって差があるが、2005年と比較すると全ての県で上昇している。



図表7と図表9をもとに、18歳人口の減少と大学進学率の上昇を比較してみると図表10のようになる。また、文部科学省の試算によると（第13回将来構想部会 配付資料「大学への進学者数の将来推計について」参照）2033年の大学進学率は56.7%と推計されており、18歳人口の減少下では大学進学者数も減少することがわかる。このように、18歳人口の減少は、大学進学率の上昇を越えて進行すると予測される。

図表10 18歳人口と大学進学者数の比較

	2005年	2018年	2033年
18歳人口	137万人	118万人	101万人
大学進学率（全国平均）	39%	50%	56.7%
大学進学者数	534,300人	590,000人	572,670人

「2）新設学部等の分野の動向」において指摘したように、データサイエンス分野における人材の需要の高さから、18歳人口が減少する中であっても、データサイエンス系の学部への志願倍率は高い水準を保っている。このことから、社会的ニーズに合致した魅力的な人材育成の教育プログラムを用意することで多くの志願者を集めることができることがわかる。

今回の改組では、社会的なデータサイエンス人材不足に対応するため、データサイエンス教育の充実化を図り、経済・経営分野の高い専門性と分野横断的な幅広い知識を持ちつつ、

データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材を養成することを目的としている。したがって、データサイエンス教育重視を明確に打ち出している本学部においても十分な志願者を確保することは可能であると考ええる。

4) 競合校の状況

本学部の競合校として想定されるのは、①社会科学系の学部を持ち、②距離的にも妥当な範囲にあり、③学力レベルも極端に差がない国公立大学が想定される。大学入試センターのデータによると、本学部の令和5年度入試の前期日程・後期日程を受験した者の本学経済学部を除く併願先上位5校は図表11の通りである。

図表11 本学部受験者の併願状況

一般前期志願者の併願状況（複数併願含む）		一般後期志願者の併願状況（複数併願含む）	
大学名（入試日）	人数	大学名（入試日）	人数
福井県立大学経済学部（3/12）	131	高崎経済大学経済学部（2/25, 3/8）	67
高崎経済大学経済学部（3/8）	72	金沢大学人間社会学域（2/25）	53
長野県立大学グローバルマネジメント学部（3/9）	28	公立小松大学国際文化交流学部（2/25, 3/10）	20
高崎経済大学地域政策学部（3/12）	21	信州大学経法学部（2/25）	17
下関市立大学経済学部（3/8）	20	新潟大学経済科学部（2/25）	11

併願状況の上位にあがっている大学が、学力レベルも極端に差がない大学として考えられる。

以上より、上記3つの条件を満たす大学である、福井県立大学経済学部、高崎経済大学経済学部・地域政策学部、長野県立大学グローバルマネジメント学部、金沢大学人間社会学域、信州大学経法学部、新潟大学経済科学部を富山大学経済学部の競合校として説明する。

図表12 併願先大学の2022年度入試の概要

大学・学部名	学科名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
福井県立大学経済学部*1	経済学科	100名	807名	442名	169名	-	8.1倍
	経営学科	100名	514名	292名	151名	-	5.1倍
高崎経済大学経済学部	経済学科	200名					
	経営学科	200名	3,936名	2,460名	862名	538名	8.2倍
	国際学科	80名					
高崎経済大学地域政策学部	地域政策学科	150名					
	地域づくり学科	150名	1,683名	1,115名	581名	445名	4.0倍
	観光政策学科	120名					
長野県立大学グローバルマネジメント学部	グローバルマネジメント学科	170名	623名	396名	239名	190名	3.7倍
金沢大学人間社会学域	法学類	125名*2	274名	257名	135名	130名	2.2倍
	経済学類	106名*2	169名	165名	112名	105名	1.6倍
信州大学経法学部	応用経済学科	100名	198名	179名	115名	103名	2.0倍
	総合法律学科	80名	179名	169名	94名	85名	2.2倍
新潟大学経済科学部	総合経済学科	350名	1,331名	1,299名	436名	349名	3.8倍

*1福井県立大学は2023年度入試のデータである。

*2金沢大学の募集人員は一般選抜試験（前期）のもの。

※本学部の状況は図表13を参照。

各校の入学志願状況等をみると（図表12）、特に公立大学では高い志願倍率を示しており、国立大学においても2～4倍前後を保っていることから、競合校においても十分学生が確

保できている状況である。このことから、社会科学分野に対するニーズは十分高いものと考えられる。

本学部では、社会的なデータサイエンス人材の不足という状況に対し、今回の改組を通じてデータサイエンス教育の充実化を図り、「経済・経営分野の高い専門性と分野横断的な幅広い知識を持ちつつ、データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材の養成」を図ることを目指している。競合校となる上記6校においては、学部全体にわたるデータサイエンス人材の養成という取り組みは行われておらず、競合校の中にあっても本学部は差別化された優位性を持っていると考えられる。「2）新設学部等の分野の動向」において指摘したように、データサイエンス分野において人材需要が高いことと考え合わせると、本学部において学生の確保は十分可能であると考えている。

5）既設学部等の学生確保の状況

本学部の募集入学定員総数は、令和3年度まで335名（昼間主305名，夜間主30名），令和4年度から365名（昼間主335名，夜間主30名）に対し，過去5年間毎年平均1,206名の志願者を確保しており，平均志願倍率は3.5倍となっている。（図表13参照）

図表13 過去5年間の経済学部志願者数及び志願倍率の推移

		平成30年度						平成31年度					
		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率
昼間主コース	経済学科	120	478	369	134	127	4.0	120	482	375	133	130	4.0
	経営学科	100	402	353	111	99	4.0	100	354	285	110	100	3.5
	経営法学科	85	304	206	94	88	3.6	85	396	297	94	85	4.7
	小計	305	1,184	928	339	314	3.9	305	1,232	957	337	315	4.0
夜間主コース	経済学科	10	87	55	12	11	8.7	10	72	47	13	10	7.2
	経営学科	10	68	43	12	10	6.8	10	87	56	11	10	8.7
	経営法学科	10	42	27	12	10	4.2	10	60	42	15	10	6.0
	小計	30	197	125	36	31	6.6	30	219	145	39	30	7.3
	計	335	1,381	1,053	375	345	4.1	335	1,451	1,102	376	345	4.3

		令和2年度						令和3年度					
		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率
昼間主コース	経済学科	120	396	310	131	120	3.3	120	334	277	134	125	2.8
	経営学科	100	264	196	110	104	2.6	100	241	201	111	100	2.4
	経営法学科	85	254	161	92	87	3.0	85	194	167	92	86	2.3
	小計	305	914	667	333	311	3.0	305	769	645	337	311	2.5
夜間主コース	経済学科	10	77	45	14	12	7.7	10	35	22	13	10	3.5
	経営学科	10	67	42	12	11	6.7	10	33	23	11	10	3.3
	経営法学科	10	37	30	15	10	3.7	10	47	32	13	10	4.7
	小計	30	181	117	41	33	6.0	30	115	77	37	30	3.8
	計	335	1,095	784	374	344	3.3	335	884	722	374	341	2.6

		令和4年度						過去5年間の入試状況まとめ					
		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率
昼間主コース	経済学科	135	415	277	152	135	3.1	615	2,105	1,608	684	637	3.4
	経営学科	108	419	281	129	108	3.9	508	1,680	1,316	571	511	3.3
	経営法学科	92	272	174	99	93	3.0	432	1,420	1,005	471	439	3.3
	小計	335	1,106	732	380	336	3.3	1,555	5,205	3,929	1,726	1,587	3.3
夜間主コース	経済学科	10	38	24	13	12	3.8	50	309	193	65	55	6.2
	経営学科	10	36	18	12	10	3.6	50	291	182	58	51	5.8
	経営法学科	10	37	18	12	11	3.7	50	223	149	67	51	4.5
	小計	30	111	60	37	33	3.7	150	823	524	190	157	5.5
	計	365	1,217	792	417	369	3.3	1,705	6,028	4,453	1,916	1,744	3.5
								平均	1,206				

平成30年度から令和4年度までの過去5年間の一般選抜の平均倍率は，前期日程が2.7倍であり，近年低下傾向にはあるが，一定のレベルを維持している。また，後期日程は12.1倍

と極めて高いレベルにある。(図表14参照) これは本学部におけるこれまでの人材育成実績に支えられた確実な志願者層があることをあらわしているといえる。

図表14 経済学部（昼間主コース）の一般選抜前期日程・後期日程の入試状況

年度	区分	前期日程	後期日程
平成30年度	募集人員	199	30
	志願者数	661	391
	志願倍率	3.3	13.0
平成31年度	募集人員	199	30
	志願者数	686	424
	志願倍率	3.4	14.1
令和2年度	募集人員	199	30
	志願者数	465	326
	志願倍率	2.3	10.9
令和3年度	募集人員	199	30
	志願者数	462	170
	志願倍率	2.3	5.7
令和4年度	募集人員	229	30
	志願者数	446	500
	志願倍率	1.9	16.7
5年間平均	志願者数	544	362
	志願倍率	2.7	12.1

今回の改組は、社会の人材ニーズの変化に対応した教育機能の強化を狙いとしているが、これまでの本学部が培ってきた実績の基盤のうえにデータサイエンス教育を強みとして進めていくものであり、改組後の入学志願者数にプラスの大きな効果をもたらすものと想定しており、既設学部の志願者数及び志願倍率の実績を考慮しても、十分に定員を充足できると判断できる。

(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

①オープンキャンパス

本学部では、毎年8月上旬にオープンキャンパスを開催し、経済学部についての説明会、入試の概要説明、学科ごとの模擬講義、在学生からの学生生活についての説明、入学・進学相談会などを行っている。令和2年度と3年度はWEB開催となったが、令和4年度は人数制限を行い、感染対策をとりながら対面での開催を行った。オープンキャンパスの実施形態と参加人数は図表15に示した通りである。

例年、模擬講義と在学生からの学生生活についての説明が、参加した高校生からの評判が良い。模擬講義は大学での学びを体験し、大学での学びの意欲を高めることに役立っている。また、在学生からの学生生活についての説明は、学生生活を実際に送っている年齢的にも近い先輩からの話を聞くことで学生生活を実感し、これから迎える学生生活に思いをはせる機会となっている。

このように、オープンキャンパスは、大学で学ぶことの楽しさを体験する場となっており、これを上手く利用し、学部の魅力を発信する機会としていく。

図表15 経済学部におけるオープンキャンパスの実施形態と参加人数

R01 年度[対面]	R02 年度[WEB]	R03 年度[WEB]	R04 年度[対面]
800人	651人	807回*	596人

※対面開催の各数には付添者（保護者等）を含む

*令和3年度は対面開催が中止されたため、WEBオープンキャンパス期間8/3～8/15における経済学部動画の再生回数である

②アカデミック・インターンシップ、探究活動・課題研究活動

富山県教育委員会との協定に基づき、令和元年度より富山県立高等学校2年の生徒を対象にアカデミック・インターンシップを実施している。これは、「大学等への進学を希望する生徒に対し、大学研究室等と連携して興味・関心のある学問分野の研究活動等を体験させることにより、学習意欲や進路意識を高める契機とする」ことを目的とした事業であり、大学教授や学生等から指導を受けながら、実験・実習・演習を体験するものである。本学部でも毎年10～15名の生徒を受け入れ、担当教員からの研究指導を体験させることで、大学における研究活動の楽しさを伝えている。

また、大学連携講座や探究講座、課題研究指導などの名称で各校が行う探究活動・課題研究活動に対して、専門的見地から助言・サポートを行ったり、生徒の発表会で講評を行ったりする教員を派遣し（3～5校）、探究活動・課題研究活動に興味を持たせるような取り組みを行っている。

③出張模擬授業・進路ガイダンス、大学見学会、高等学校訪問

本学部では、学部入学試験委員会ならびに社会連携委員会の委員が中心となり、高等学校からの依頼をもとに高等学校で、高校生を対象に教員の専門分野の模擬授業を行ったり、本学部の特色、入学試験の概要、就職支援及び進路実績等についての説明（進路ガイダンス）を行ったりしている。また大学見学会という形で高校から訪問を受け、学部概要の説明を行ったり模擬授業を行ったりしている。出張模擬授業・進路ガイダンスについては、令和4年度は年間30件ほど、大学見学会については23件ほどの依頼を受けている。

また、毎年、県内及び石川県の入学実績の高い重点校を対象に（15校程度）、学部入学試験委員会委員長と学部長が高校訪問を行っている。学部教育の特色の説明や入試制度に関する情報提供を行うとともに、高校教諭と意見交換をし、志願者の確保に努めている。

④その他広報活動

学部改組については、今後、ウェブサイト、オープンキャンパス、高校訪問などを通じて広報活動を積極的に行っていく予定である。

2 人材需要の動向等社会の養成

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

今日の多様化・複雑化したビジネス・社会課題の解決のためには、これまで以上に、経済学・経営学双方にまたがる深い理解と幅広い知識が不可欠であると同時に、従来とは抜本的に異なる新たな価値を作り出していくために、データを分析・活用して課題を解決できる人材が強く求められている。

今回の改組では、こうした社会的ニーズに対応するため、「経済・経営分野の高い専門性と分野横断的な幅広い知識を持ちつつ、データを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する人材を養成する」ことを目的として、以下の3つの人材育成方針のもと人材育成にあたる。

- ①社会科学に関わる高い専門性を身に付けることで問題の本質を適切に見極める力を養う。
- ②領域横断的な学修を通じた幅広い知識を身に付けることで課題解決に対して柔軟に発想・創造する力を養う。
- ③データサイエンスの知識・技術を身に付けることでデータの中からエビデンスベースで革新的な解決策を導く力を養う。

そのため、教育上の特色として以下の取り組みを行っていく。

- a) 体系化された教育課程の編制
- b) 切れ目のない少人数教育
- c) 入学後に専門分野を決定（レイトスペシャライゼーション）
- d) 社会科学分野とデータサイエンス分野を複合的に学修可能な体制
- e) 文理融合教育の重視

以上のような人材養成の目的の下で特色を持った教育を行い、社会のニーズに合った人材を輩出することで、地域社会におけるプレゼンスを高めることに繋がると考えられる。

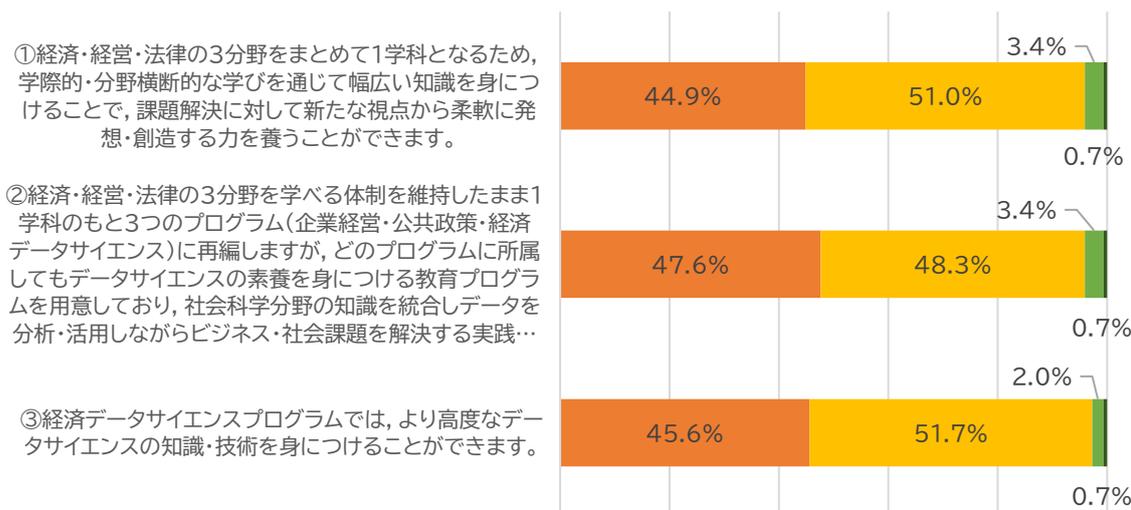
(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

上記(1)で示した、改組を通じて養成を目指している人材像が真に社会のニーズに合ったものなのかについて客観的に評価を行うため、過去3年間の本学部の卒業生の就職先である企業・行政機関等578社に対して「富山大学経済学部経済経営学科（仮称）に関するアンケート」を実施した。アンケートは令和5年2月24日から3月17日まで実施し、147社から回答を得ている（回収率25.4%）。回答企業の属性（所在地、業種、従業員数等）の他、平均採用数、採用したい学問系統について尋ねている。アンケート結果は【資料3】のとおりである。アンケートでは、今回の改組の3つの特色の魅力度と、3つのプログラムによって育成する人材の魅力度、卒業生の採用意向等について質問している。したがって、その結果に基づいて養成する人材に対する社会的ニーズを明らかにする。なお、回答者の内訳（質

問1)としては、「採用の決裁権はないが、選考に関わっている」方からの回答が97名(66%)と最も多かった。次いで、「採用の決裁権があり、選考に関わっている」(31名:21%),そして「採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある」(19名:13%)であった。

i) 経済学部経済経営学科の社会的有用性ならびに養成する人材の魅力度

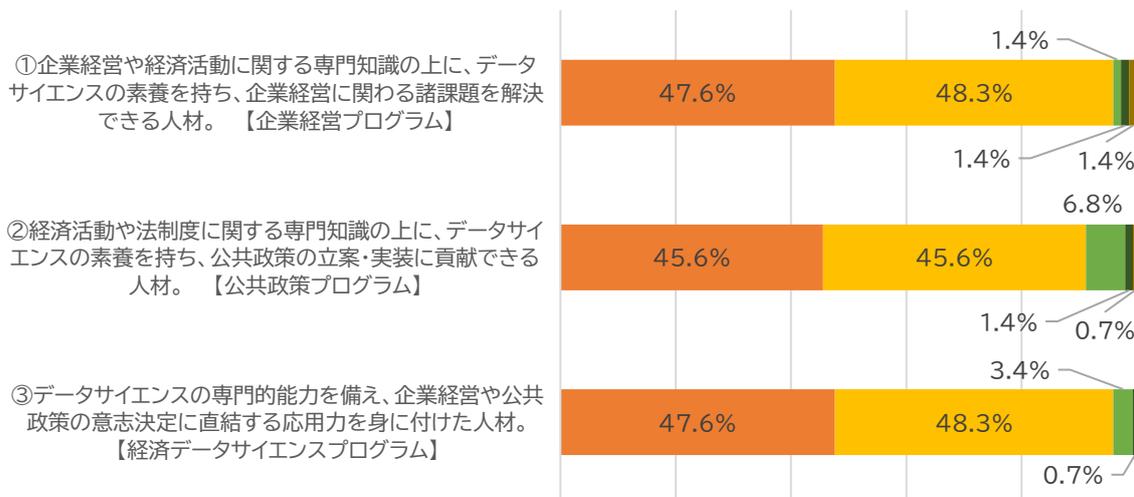
まず、今回の改組の3つの特色の魅力度について質問した結果は以下のとおりである。



■とても魅力を感じる ■ある程度魅力を感じる ■あまり魅力を感じない ■まったく魅力を感じない ■回答なし

いずれの特色も「魅力を感じる」との回答が95%を超えており、今回の改組が目指すべき方向性は社会的にも認められているものと受けとめることができる。

また、3つのプログラムでそれぞれ養成を目指す人材像の魅力度について質問した結果は以下のとおりである。



■とても魅力を感じる ■ある程度魅力を感じる ■あまり魅力を感じない ■まったく魅力を感じない ■回答なし

養成する人材像について「魅力を感じる」との回答が「②公共政策プログラム」で90%，他の2つのプログラムでは95%を超えており，今回の改組において1学科のもとで編成した3つのプログラムにおいて養成を目指す人材像についても社会的に認められているものと受けとめることができる。

そのうえで，「富山大学「経済学部経済経営学科」は，これからの社会にとって必要だと思いますか。」と，経済学部経済経営学科に対する社会的必要性について尋ねたところ，全回答企業（147社）の97.3%にあたる143社が「必要だと思う」と回答している。

これらの結果から，改組後の経済学部経済経営学科は，社会的に必要であると認識されているとともに，改組に伴い養成を目指す人材は，社会にとって極めて魅力的と捉えられていることが明らかとなった。

ii) 経済学部経済経営学科の卒業生の採用意向・採用予定者数

アンケートでは，続いて卒業生の採用意向について尋ねている。養成する人材像が魅力的であるとのアンケート結果であったが，真に魅力的であれば，採用意向に端的にあらわれると考えられる。

「富山大学「経済学部経済経営学科」を卒業した学生について，採用したいと思えますか。」と，尋ねたところ，全回答企業（147社）の97.3%にあたる143社が「採用したいと思う」と回答している。

さらに，この「採用したいと思う」と回答した企業を対象に，「毎年何名程度の採用を想定」するかを尋ねたところ，多くの会社等では1名～2名程度であるが，「5名～9名」が7社，「10名以上」が4社と，大量採用を考えている会社等も少なくないことから（図表16），養成する人材像が高く評価されていることがわかる。

図表16 卒業生の採用想定数に対する回答割合と回答社数

採用想定数	1名	2名	3名	4名	5～9名	10名以上	未確定
実際の回答社数 (143社/147社中)	24	26	16	3	7	4	63
回答割合	16.8%	18.2%	11.2%	2.1%	4.9%	2.8%	44.1%
調査対象企業全てから 回答があった場合の 想定回答社数 (562社/578社中)	94	102	63	12	27	16	248

また，「採用想定数」への回答社数から回答割合を求め，それを本学部の卒業生の採用実績のある今回の調査対象企業578社全体にあてはめてみる。「経済学部経済経営学科」を卒業した学生を採用したいと思う企業は97.3%であることから，578社中562社が学生を採用したい企業となる。それをもとに，562社の場合の回答社数は図表16に示した通りとなる。この562

社の下での回答社数をもとに採用想定数を算定すると、1,078名*となる。これは学生定員の335名の3倍強の数字であり卒業生の就職にはまったく問題ないレベルである。

*1名×94社+2名×102社+3名×63社+4名×12社+5名×27社+10名×16社+1名×248社=1,078名（なお、「5名～9名」は5名、「10名以上」は10名、「人数は未確定」は1名として算定。）

以上から、これまでの卒業生の就職先である企業・行政機関等において、「経済学部経済経営学科」の卒業生を引き続き積極的に受け入れたいと考えており、改組を通じて養成する人材に対する社会的ニーズは高いことが明らかになったといえる。

資料目次

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

資料 1	富山大学における授業料その他の費用に関する規則	2
資料 2	富山大学経済学部経済経営学科（仮称）及び理学部理学科（仮称）に関するアンケート【高校生向け】	9
資料 3	富山大学経済学部経済経営学科 仮称に関するアンケート【企業向け】 ..	27
資料 4	富山大学経済学部経済経営学科構想説明資料【高校生・企業共通】	46

富山大学における授業料その他の費用に関する規則

平成17年10月1日制定	平成18年4月1日改正
平成18年9月21日改正	平成19年4月1日改正
平成20年4月1日改正	平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正	平成27年4月1日改正
平成29年7月11日改正	令和元年9月24日改正
令和2年3月24日改正	令和2年7月1日改正
令和4年3月30日改正	令和4年9月29日改正

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学（以下「本学」という。）における授業料その他の費用に関し、他の規則に別段の定めのあるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(授業料，入学料及び検定料の額)

第2条 本学において徴収する授業料（幼稚園にあつては、保育料。以下同じ。）の年額，入学料（幼稚園にあつては、入園料。以下同じ。）及び入学等に係る検定料は、次の表のとおりとする。

区分		授業料（年額）	入学料	検定料
大学の学部		535,800円	282,000円	17,000円
大学の夜間において授業を行う学部		267,900円	141,000円	10,000円
大学院の研究科，教育部及び学環		535,800円	282,000円	30,000円
転入学 編入学 再入学	大学の学部	535,800円	282,000円	30,000円
	大学院の研究科，教育部及び学環			
	大学の夜間において授業を行う学部	267,900円	141,000円	18,000円
研究生		(月額) 29,700円	84,600円	9,800円
科目等履修生		(1単位) 14,800円	28,200円	9,800円
特別聴講学生		(1単位) 14,800円	—	—
特別研究学生		(月額) 29,700円	—	—
幼稚園		73,200円	31,300円	1,600円
特別支援学校の高等部		4,800円	2,000円	2,500円

- 2 本学に附属して設置される小学校，中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の入学料は、これを徴収しないものとする。
- 3 小学校及び中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部において、入学を許可するための試験，健康診断，書面その他による選考等を行った場合に徴収する検定料の額は、次の表のとおりとする。

区分	検定料
小学校	3,300円
中学校	5,000円
特別支援学校の小学部	1,000円
特別支援学校の中学部	1,500円

- 4 大学の学部において、出願書類等による選抜（学校推薦型選抜及び総合型選抜等において第1次選考として書類審査等を行う場合を含む。以下「第1段階選抜」という。）を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下「第2段階選抜」という。）を行う場合及び個別学力検査出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願資格のない者（以下「個別学力検査出願無資格者」という。）であることが判明した場合の検定料は、第1項の規定にかかわらず、次の表の学部等の区分に応じ、第1段階選抜及び個別学力検査出願無資格者にあつては同表の中欄に掲げる額を、第2段階選抜にあつては同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	第1段階選抜	第2段階選抜
	個別学力検査出願無資格者	
大学の学部	4,000円	13,000円
大学の夜間において授業を行う学部	2,200円	7,800円

- 5 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校において、抽選による選考等を行い、その合格者に限り試験、健康診断、書面その他による選考等（以下この項において「試験等」という。）を行う場合に係る検定料は、第1項及び第3項の規定にかかわらず、次の表の学校等の区分に応じ、抽選による選考等にあつては、同表の中欄に掲げる額を、試験等にあつては、同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	抽選による選考等	試験等
幼稚園	700円	900円
小学校	1,100円	2,200円
中学校	1,300円	3,700円
特別支援学校の小学部	500円	500円
特別支援学校の中学部	600円	900円
特別支援学校の高等部	700円	1,800円

- 6 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校の転入学に係る入学料及び検定料は、次の表のとおりとする。

区分	入学料	検定料
幼稚園	31,300円	1,600円
小学校	—	3,300円
中学校	—	5,000円
特別支援学校の小学部	—	1,000円
特別支援学校の中学部	—	1,500円
特別支援学校の高等部	2,000円	2,500円

（長期履修に係る授業料）

第3条 学則第62条に規定する修業年限及び大学院学則第25条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して卒業又は修了することを認められた者から徴収する授業料の年額は、当該在学を認められた期間（以下「長期履修期間」という。）に限り、前条第1項に規定する授業料の年額に修業年限又は標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修期間の年数で除した額（その額に十円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。）とする。

2 学部及び大学院研究科（教育部及び学環を含む。以下同じ。）において長期履修期間を短縮する変更が認められた場合の授業料の額は、初年度から変更後の長期履修期間により前項の規定に従い算出した額とし、変更前の授業料の額との差額については、長期履修期間を変更した最初の学期にそれを徴収する。

3 学部及び大学院研究科において長期履修期間の延長が認められた場合の授業料の額は、変更後の長期履修期間により第1項の規定に従い算出した額とし、既に履修した期間の授業料の額との差額については、その調整は行わない。

4 長期履修期間を超えてなお在学する者の授業料の額は、前条第1項に定める額とする。
（授業料の徴収方法等）

第4条 各年度に係る授業料の徴収は、当該年度において、学期その他の期間に区分して行うことを原則とする。ただし、学生又は生徒等の申出があったときは、一括して徴収することができる。

2 前項の規定にかかわらず、入学年度に係る授業料について、入学を許可される者の申出があったときは、入学年度の前年度において入学を許可するときにその一部又は全部を徴収することができる。

第5条 当該年度における在学期間が12月に満たない者の授業料は、授業料の年額の12分の1に相当する額に在学する月数（1月未満の端数があるときは、これを1月とする。）を乗じて得た額を徴収することを原則とする。

（入学料の徴収方法）

第6条 入学料は、入学を許可するときに徴収することを原則とする。

（検定料の徴収方法）

第7条 検定料は、入学、転入学、編入学又は再入学の出願（第2条第3項、第4項及び第5項に規定する場合を含む。）を受理するときに徴収することを原則とする。

（寄宿料の額等）

第8条 寄宿料の月額は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分		寄宿料（月額）
新樹寮	S I	13,000円
	S II	18,000円
	D I	23,000円
五福国際交流会館	単身室	5,900円
	夫婦室	9,500円
	家族室	14,200円
杉谷国際交流会館	A室 世帯用（60㎡以上）	14,200円

	B室 世帯用 (50~60㎡)	11,900円
	C室 単身用 (25㎡以上)	5,900円

備考：新樹寮は、上記寄宿料のほか、維持管理費（共益費）月額2,000円を徴収する。

2 寄宿料は、寄宿舎に入居した日の属する月から退居する日の属する月まで、毎月その月の分を徴収することを原則とする。ただし、休業期間中の分は、休業期間前に徴収するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、学生の申出又は承諾があったときは、その申出又は承諾があった月分の寄宿料を併せて徴収することができる。

第8条の2 前条の規定にかかわらず、寄宿料は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額に、入居した日から退去する日までの日数を乗じた額とすることができる。

	区分	寄宿料（日額）
新樹寮	S I	900円
	S II	1,000円

2 寄宿料は、入居する日までに徴収することを原則とする。

（経済的負担の軽減のための措置）

第9条 本学は、学部及び大学院研究科の学生で経済的理由によって納付が困難であると認められる者その他のやむを得ない事情があると認められる者に対し、授業料、入学料又は寄宿料の全部若しくは一部の免除又は徴収の猶予その他の経済的負担の軽減を図るために必要な措置を講ずるものとする。

（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生の授業料の徴収方法）

第10条 研究生及び科目等履修生に係る授業料の徴収方法は、別に定める。

2 特別研究学生又は特別聴講学生に係る授業料の徴収方法は、研究生又は科目等履修生と同様とする。

第11条 削除

（学位論文審査手数料の額及び徴収方法）

第12条 学位論文審査手数料は1件について58,055円とし、学位授与の申請を受理するときに徴収するものとする。

2 本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学後1年以内に博士論文を提出した場合は、学位論文審査手数料を免除する。

（授業料免除等の取扱い）

第13条 授業料の免除の許可を受けた者について、免除の理由が消滅したことによりその免除を取り消した場合は、免除した前期及び後期の授業料の額を当該前期及び後期の月数で除して得た額に取り消しの日の属する月からその期の終わりの月までの月数を乗じて得た額を、取り消しの日の属する月に徴収するものとする。ただし、不正の事実の発見により取り消した場合にあっては、取り消しの日の属する月に、免除した前期又は後期の授業料の全額を徴収するものとする。

2 授業料の徴収猶予の許可を受けた者から授業料を徴収する時期は、徴収猶予の期間が満了する日の属する月とする。ただし、徴収猶予の理由が消滅したときは、その消滅した日の属する月に徴収するものとする。

3 月割分納による授業料の徴収猶予の許可を受けた者からは、毎月その月の分を徴収するものとする。ただし、休業期間中の分は、休業期間の開始前に徴収するものとする。

4 授業料の徴収猶予（月割分納による徴収猶予を含む。）の許可を受けた者が退学をする

場合は、その期において徴収するものとしている額を、退学の許可をするときに徴収するものとする。

- 5 前4項に規定するもののほか、授業料等の免除又は徴収猶予の実施について必要な事項は、別に定める。

(授業料等の不徴収)

第14条 本学大学院研究科の修士課程を修了し、引き続き本学大学院教育部の博士課程に進学する者については、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第28条並びに大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第13条及び第15条の規定に基づく措置により、本学において授業科目を履修する者(以下「特別聴講学生」という。)又は研究指導を受ける者(以下「特別研究学生」という。)に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、授業料については、特別聴講学生又は特別研究学生が公立大学又は私立大学の学生であるときは、第2条で定める額を徴収し、国立大学法人法(平成15年法律第112号)に定める国立大学の学生であるときは徴収しないものとする。

- 3 大学間相互単位互換協定に基づく特別聴講学生に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

(1) 協定を締結する大学の学生が、相互にそれぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める協定であること。

(2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること。

(3) 締結する協定又はその付属書において、有効期間が記載されていること。

- 4 大学間特別研究学生交流協定に基づく特別研究学生に係る、入学料及び検定料は徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

(1) 協定を締結する大学の大学院学生が、相互に当該他の大学院等において研究指導を受けることを認める協定であること。

(2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること及び有効期間が記載されていること。

- 5 相互に検定料及び入学料を不徴収とする大学間協定を締結した国立大学法人が設置する大学の大学院から本学の大学院に転入学を志願する者にあつては、検定料及び入学料を徴収しないものとする。

- 6 産業教育振興法に基づく内地留学生及び科学教育研究室の研究生等別途実施要項等による者については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

(外国人留学生)

第15条 大学間交流協定、学部間交流協定及びこれらに準ずるものに基づき受け入れる外国人留学生については、締結する協定書又はその付属書において、授業料、入学料及び検定料が相互に不徴収とされている場合は、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 国費外国人留学生については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 3 前2項に掲げるもののほか、外国人留学生については、第2条から第10条まで、第12条から第14条までの規定を適用する。

(証明書の発行手数料の額及び徴収方法)

第16条 本学を卒業した者、修了した者、退学した者、除籍された者又は研究生、科目等履

修生、特別聴講学生若しくは特別研究学生であった者が、本学が指定した証明書交付願により交付申請する場合は、証明書1通当り500円の手数料を徴収するものとする。

- 2 前項の手数料は、交付申請を受理するときに徴収するものとする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当する場合は、手数料を徴収しないものとする。
 - (1) 本学の学生（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生を含む。）が申請する場合
 - (2) 附属学校に係る証明書を申請する場合
 - (3) 卒業、修了、退学又は除籍の日の属する月に申請する場合
 - (4) 外国に居住又は滞在している者が外国から直接申請する場合（納付した授業料等）

第17条 納付した検定料、入学料、授業料、寄宿料、受講料及び証明書の発行手数料（以下「授業料等」という。）は還付しない。ただし、次の各号の一に該当する場合には、納付した者の申出により当該各号に定める額を還付する。

- (1) 本学の入学者選抜において、出願書類等による第1段階目の選抜を行い、その合格者に限り学力検査その他による第2段階目の選抜を行う場合に、検定料を納付した者が、第1段階目の選抜で不合格となったとき及び個別学力検査出願無資格者であることが判明した場合 第2条第4項の選抜に係る検定料相当額
- (2) 入学を許可されるときに授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額
- (3) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、9月末までに退学を許可された場合 後期分の授業料相当額
- (4) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、10月末までに休学を許可され、又は命じられた場合 後期分の授業料から後期の在籍月数分を差引いた残月数分の授業料相当額
- (5) 研究生が、在学期間の中で退学した場合 納付された授業料から在学月数分を差引いた残月数分の授業料相当額
- (6) その他学長が、授業料等を返還するのが相当であると認めた場合 当該授業料等相当額

附 則

- 1 この規則は、平成17年10月1日から施行する。
- 2 平成10年度以前入学生の授業料の額については、第2条の規定にかかわらず、次の表のとおりとする。

区分	入学年度	授業料（年額）
大学の学部	平成7・8年度入学生	447,600円
	平成9・10年度入学生	469,200円
大学の夜間において授業を行う学部	平成9・10年度入学生	234,600円
大学院学生	平成9・10年度入学生	469,200円

- 3 第10条の規定にかかわらず、高岡キャンパスにおいて平成18年3月31日まで実施する公開講座の講習料及び公開授業の受講料については、1時間につき420円とする。

附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第14条第5項の規定は、平成18年度の転入学者から適用する。
- 2 この規則の施行前に認められた長期履修にかかる授業料の算出については、第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年9月21日から施行し、平成18年9月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日前に、新樹寮に入寮している者で、この規則の施行後に引き続き新樹寮に入寮する者の寄宿料の額は、改正後の第8条第1項の規定にかかわらず、平成24年3月31日までの間、月額700円とする。ただし、当該期間中に入寮生の申請により、改修後の居室に移動した場合は、改正後の第8条第1項の規定による。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年7月1日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年9月29日から施行する。

富山大学 経済学部経済経営学科(仮称)及び理学部理学科(仮称)に関するアンケート結果

■調査の概要

(1) 調査の対象

過去5年間に両学部もしくはどちらか一方に入学実績のある富山県, 石川県, 福井県, 岐阜県, 長野県の5県の高等学校 34 校の高校2年生

(2) 調査方法

上記対象学生に, 構想説明資料の提示を行った上で, アンケートへの回答を依頼した。なお, アンケートはウェブ上で実施した。

(3) 回答数

4,294 件

(4) 調査期間

令和5年2月3日(金) ~ 2月22日(水)

(5)調査項目

- ・性別
- ・在籍学科
- ・高校所在地
- ・所属クラス
- ・卒業後の進路
- ・興味のある学問分野
- ・「経済学部経済経営学科」, 「理学部理学科」の特色に対する魅力度
- ・「経済学部経済経営学科」, 「理学部理学科」に対する受験希望
- ・「経済学部経済経営学科」, 「理学部理学科」に対する入学希望

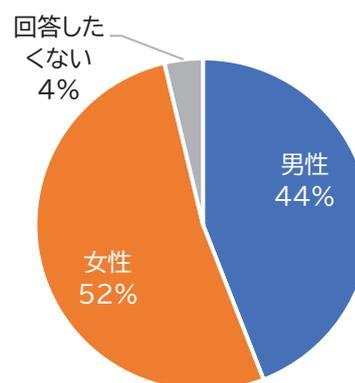
富山大学 経済学部経済経営学科(仮称)及び理学部理学科(仮称)に関する

アンケート集計

回答数：4,294 件

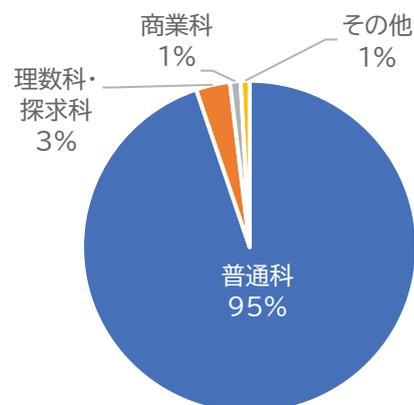
1. あなたの性別

男性	1,894
女性	2,241
回答したくない	159



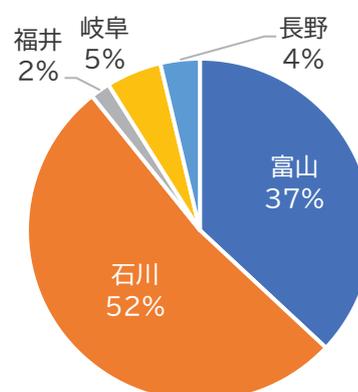
2. 在籍学科

普通科	4,072
理数科・探求科	141
商業科	44
その他	37



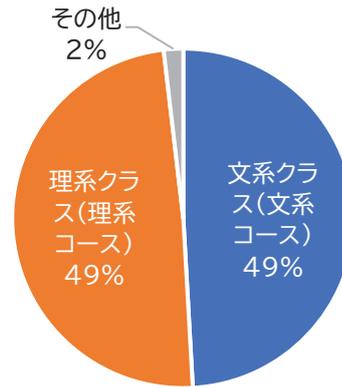
3. 高校所在地

富山	1,589
石川	2,245
福井	79
岐阜	223
長野	158

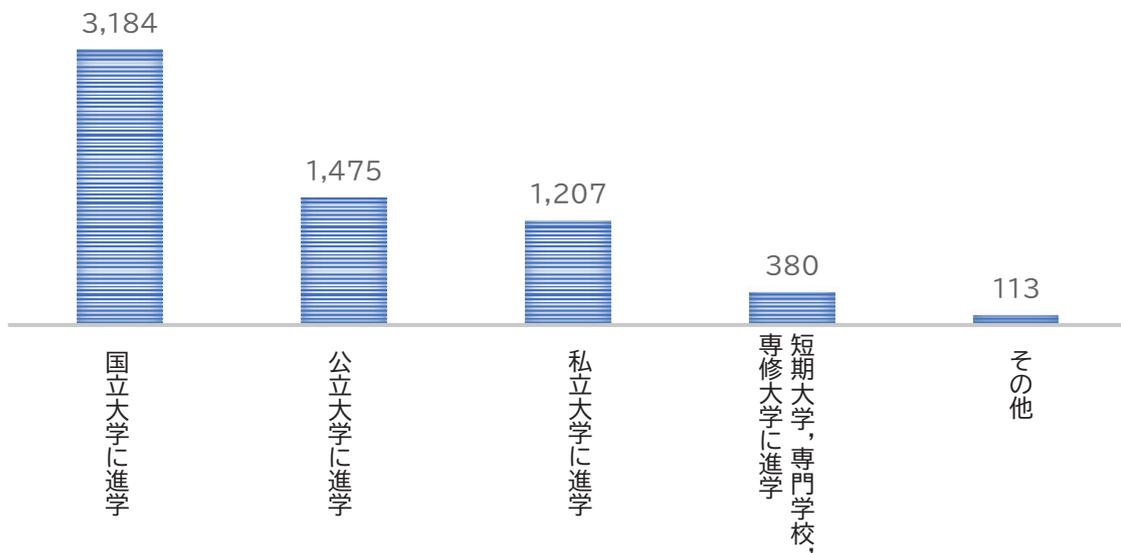


4. 所属クラス

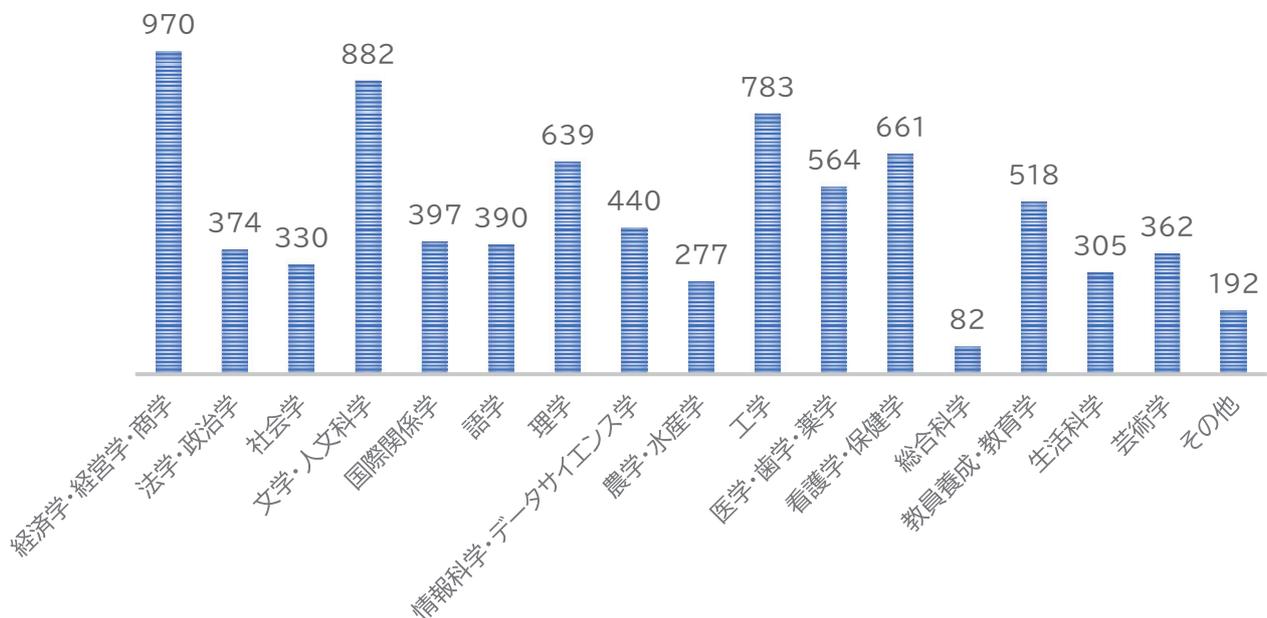
文系クラス（文系コース）	2,109
理系クラス（理系コース）	2,106
その他	79



5. 高校卒業後の進路の進路について、現時点ではどのように考えていますか。(複数選択可)



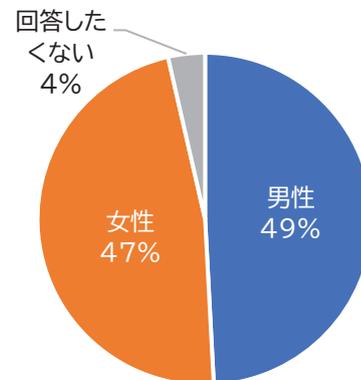
6. あなたは、どのような学問に興味がありますか。(複数選択可)



以下、「問6 あなたは、どのような学問に興味がありますか」で「経済学・経営学・商学」「社会学」「法学・政治学」「情報科学・データサイエンス学」のうち少なくとも1つに興味があると回答し、**経済学部**の設問に回答があった**1,265名**を対象として分析する。

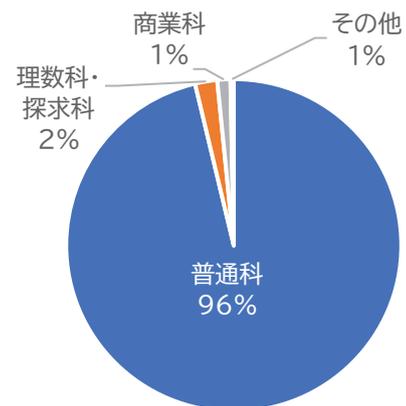
1. あなたの性別

男性	1,894
女性	2,241
回答したくない	159



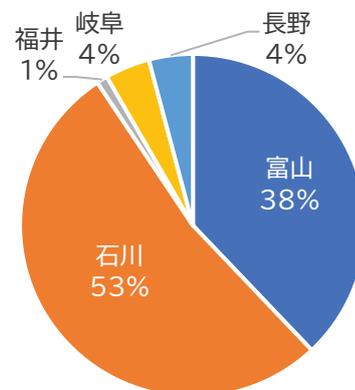
2. 在籍学科

普通科	4,072
理数科・探求科	141
商業科	44
その他	37



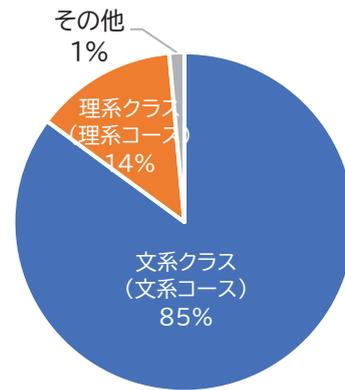
3. 高校所在地

富山	1,589
石川	2,245
福井	79
岐阜	223
長野	158

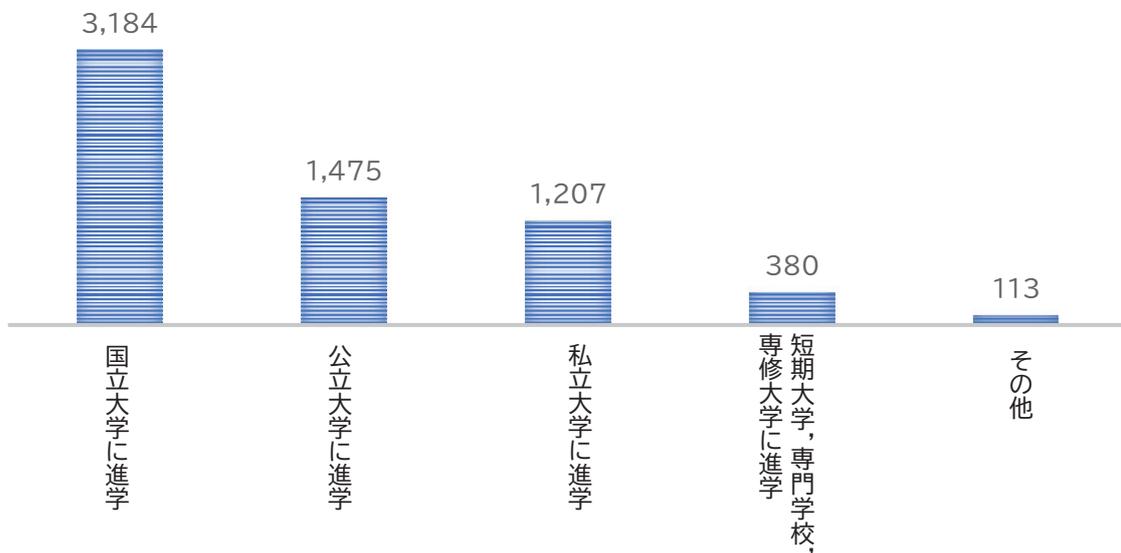


4. 所属クラス

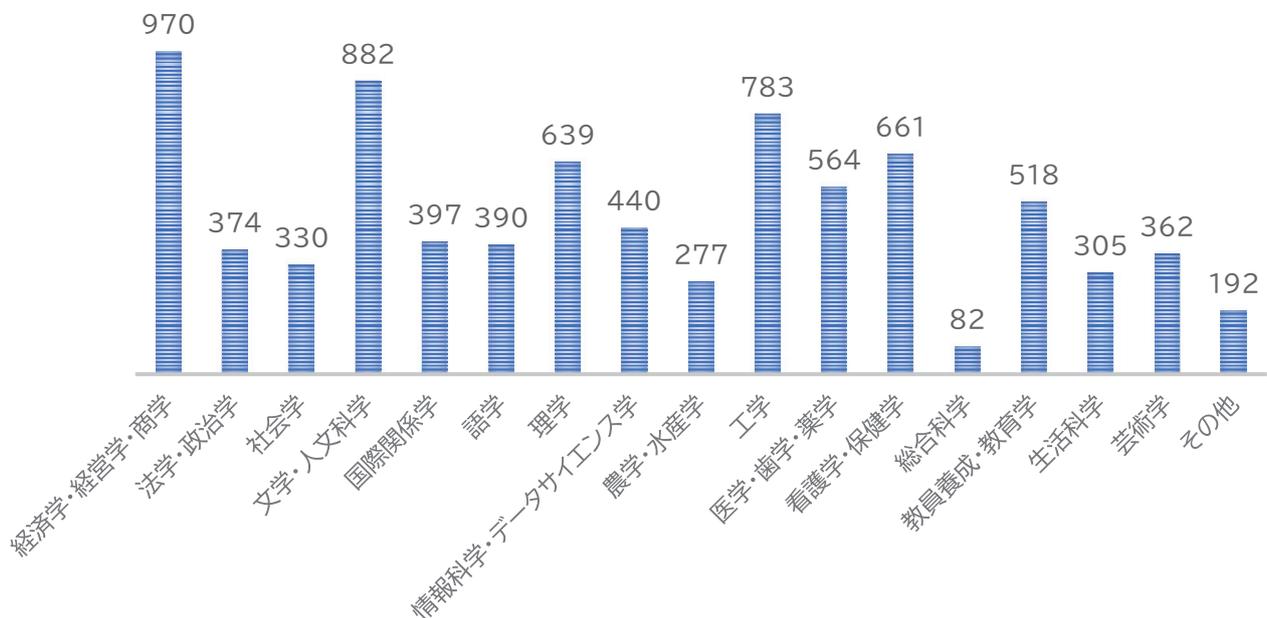
文系クラス（文系コース）	2,109
理系クラス（理系コース）	2,106
その他	79



5. 高校卒業後の進路の進路について、現時点ではどのように考えていますか。(複数選択可)

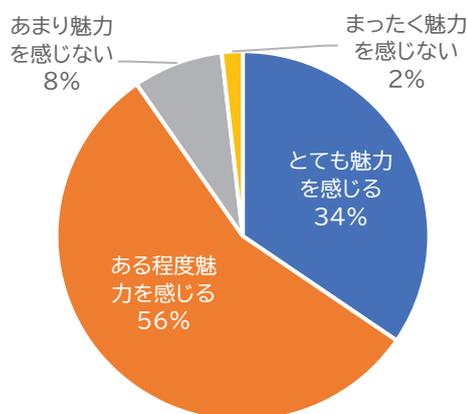


6. あなたは、どのような学問に興味がありますか。(複数選択可)



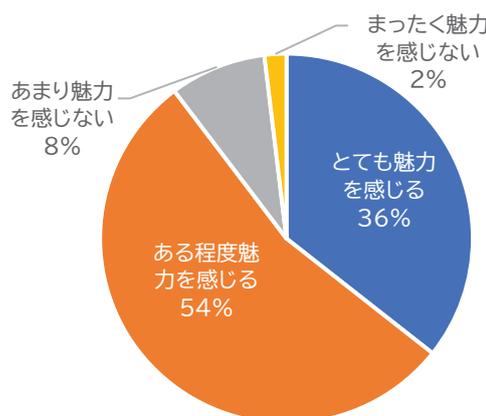
7. 経済・経営・法律の3分野を学べる体制を維持したまま1学科のもと3つのプログラム（企業経営・公共政策・経済データサイエンス）に再編します。入学後に自分の学びたいことや適性を踏まえてプログラムを選択することができるようになります。

とても魅力を感じる	437
ある程度魅力を感じる	706
あまり魅力を感じない	99
まったく魅力を感じない	23



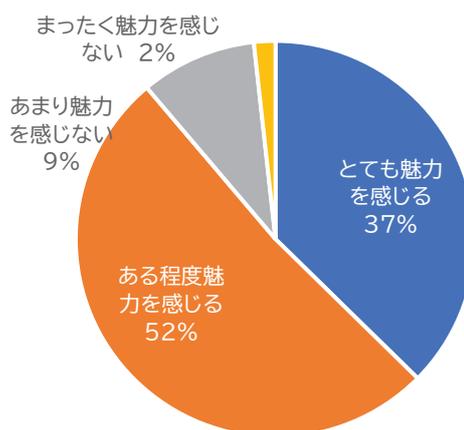
8. 経済・経営・法律の3分野をまとめて1学科となるため、学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身につけることで、課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うことができます。

とても魅力を感じる	451
ある程度魅力を感じる	684
あまり魅力を感じない	106
まったく魅力を感じない	24



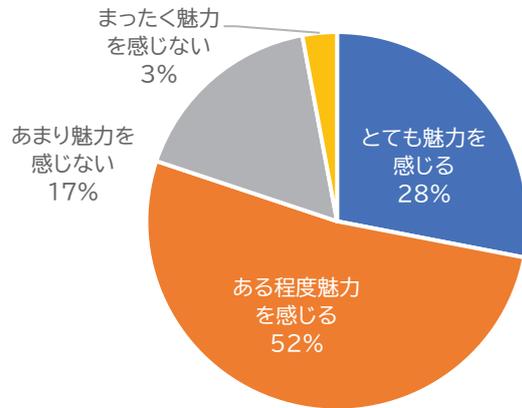
9. どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身につける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の知識を統合しデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身につけることができます。

とても魅力を感じる	473
ある程度魅力を感じる	651
あまり魅力を感じない	119
まったく魅力を感じない	22



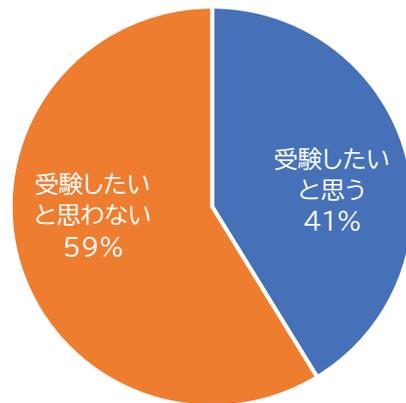
10. 経済データサイエンスプログラムでは、大学院（持続可能社会創成学環社会データサイエンスプログラム）への進学を視野に入れた、より高度なデータサイエンスの知識・技術を身につけることができます。

とても魅力を感じる	355
ある程度魅力を感じる	659
あまり魅力を感じない	214
まったく魅力を感じない	37



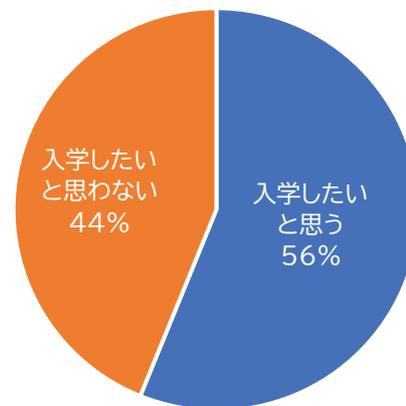
11. 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称，設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。

受験したいと思う	522
受験したいと思わない	743



12. 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称，設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。

入学したいと思う	471
入学したいと思わない	51



富山大学 経済学部経済経営学科 (仮称) 及び理学部理学科 (仮 称) に関するアンケート

富山大学では、令和6年(2024年)4月に「経済学部経済経営学科」(仮称)及び「理学部理学科」(仮称)を設置することを構想しています。このアンケートは、高校生の皆さんから進学選択に関する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお聞きし、富山大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。また、回答内容によって、皆さんに不利益が生じることはありません。ぜひアンケートへご協力をお願いいたします。

* 必須

1. 最初にあなたについてお聞きします。

1. あなたの性別 *

- 男性
- 女性
- 回答したくない

2. 在籍学科 *

- 普通科
- 商業科
- 理数科・探求科
- その他

3. 高校所在地 *

- 富山
- 石川
- 福井
- 岐阜
- 長野

4. 所属クラス *

- 文系クラス（文系コース）
- 理系クラス（理系コース）
- その他

2. 高校卒業後の進路や興味のある学びについてお聞きしま

5. あなたは、高校卒業後の進路の進路について、現時点ではどのように考えていますか。

以下の項目から、選択してください（複数選択可）

*

- 国立大学に進学
- 公立大学に進学
- 私立大学に進学
- 短期大学, 専門学校, 専修大学に進学
- その他

6. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統を選択してください。（複数選択可）
（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください） *

- 経済学・経営学・商学
- 法学・政治学
- 社会学
- 文学・人文科学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む）
- 国際関係学
- 語学（言語学含む）
- 理学
- 情報科学・データサイエンス学
- 農学・水産学（獣医含む）
- 工学
- 医学・歯学・薬学
- 看護学・保健学
- 総合科学
- 教員養成・教育学
- 生活科学（食物・栄養学・被服学など含む）
- 芸術学（美術・デザイン、音楽など含む）
- その他

7. これ以降は経済学部と理学部についての質問になります。
回答したい項目をお選びください。 *

- 経済学部・理学部ともに回答する（残り13問）
- 経済学部についてのみ回答する（残り7問）
- 理学部についてのみ回答する（残り6問）

3 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称）」についてお聞きします。

令和6年（2024年）4月に「経済学科」「経営学科」「経済法学科」の3学科を1学科に改編して、新たに「経済学部経済経営学科」（仮称）を設置することを構想しています。ここからは、富山大学経済学部経済経営学科のパンフレットを見てからお答えください。

富山大学「経済学部経済経営学科（仮称、設置構想中）」には、以下のような特色があります。あなたはどの程度魅力を感じますか。

8. 経済・経営・法律の3分野を学べる体制を維持したまま1学科のもと3つのプログラム（企業経営・公共政策・経済データサイエンス）に再編します。入学後に自分の学びたいことや適性を踏まえてプログラムを選択することができるようになります。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

9. 経済・経営・法律の3分野をまとめて1学科となるため、学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身につけることで、課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うことができます。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

10. どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身につける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の知識を統合しデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

11. 経済データサイエンスプログラムでは、大学院（持続可能社会創成学環社会データサイエンスプログラム）への進学を視野に入れた、より高度なデータサイエンスの知識・技術を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

12. 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称、設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。 *

- 受験したいと思う
- 受験したいと思わない

13. 富山大学「経済学部経済経営学科（仮称、設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。*

入学したいと思う

入学したいと思わない

14. 経済学部についての質問は以上です。理学部の質問に回答しますか？*

これで終了する。

理学部の質問に回答する。

4 富山大学「理学部理学科（仮称）」についてお聞きします。

令和6年（2024年）4月に「数学科」「物理学科」「化学科」「生物学科」「自然環境科学科」の5学科を1学科に改編して、新たに「理学部理学科」（仮称）を設置することを構想しています。

ここからは、富山大学理学部理学科のパンフレットを見てからお答えください。

15. 入学後に専門分野を選択するカリキュラムとなっており、1年生で理学の基礎を学んだ後に、2年生で自分の学びたいプログラムを6プログラム（数学、数理情報学、物理学、化学、生物科学、自然環境科学）から選択できます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

16. 各プログラムでは、それぞれの専門分野の内容を深く学ぶと同時に、異なるプログラムの科目を学び、幅広く理学の知識を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

17. 新たに設けた数理情報学プログラムでは、数理情報のエキスパートとして情報化社会で活躍する能力を身につけることができます。また、生物科学プログラムでは、生物学に加え、生命科学に関する応用的な知識や技術を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

18. 医療やSDGsなどに関して他学部と連携した科目があり、社会で活躍するための能力と専門分野の枠を超えた幅広い知識を身につけることができます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

19. 各プログラムには国際コースがあり、国際コース選択者は、留学に必要な語学力を身につける科目や海外研修により、国際的な視野と海外でも活躍できる力が身に付きます。 *

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

20. 富山大学「理学部理学科（仮称、設置構想中）」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。*

- 受験したいと思う
- 受験したいと思わない

21. 富山大学「理学部理学科（仮称、設置構想中）」に合格したら入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方を一つ選んでください。*

- 入学したいと思う
- 入学したいと思わない

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

富山大学 経済学部経済経営学科(仮称)に関するアンケート結果

■調査の概要

(1) 調査の対象

過去3年間の本学部の卒業生の就職先である企業・行政機関等 578 社の採用担当者

(2) 調査方法

上記対象企業に、構想説明資料の提示を行った上で、アンケートへの回答を依頼した。なお、アンケートはウェブ上で実施した。

(3) 回答数

147 件 (回答数 25.4%)

(4) 調査期間

令和5年2月24日(金) ~ 3月17日(金)

(5)調査項目

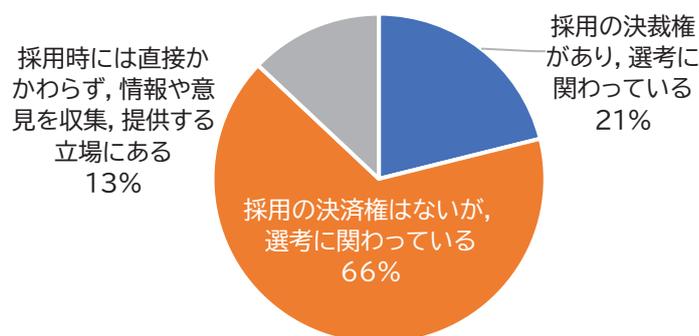
- ・ 人事採用への関与度
- ・ 本社所在地
- ・ 勤務先の主な業種
- ・ 従業員数
- ・ 正規社員の平均採用人数
- ・ 本年度の採用予定数
- ・ 採用したい学問系統
- ・ 「学び直し」(リカレント/リスキリング)の必要性, 手段等について
- ・ 経済学部 経済経営学科 の特色・人材像に対する魅力度
- ・ 経済学部 総合経済学科 の社会的必要性
- ・ 経済学部 総合経済学科 卒業生に対する採用意向
- ・ 経済学部 総合経済学科 卒業生の毎年の採用想定

富山大学 経済学部経済経営学科（仮称）に関するアンケート

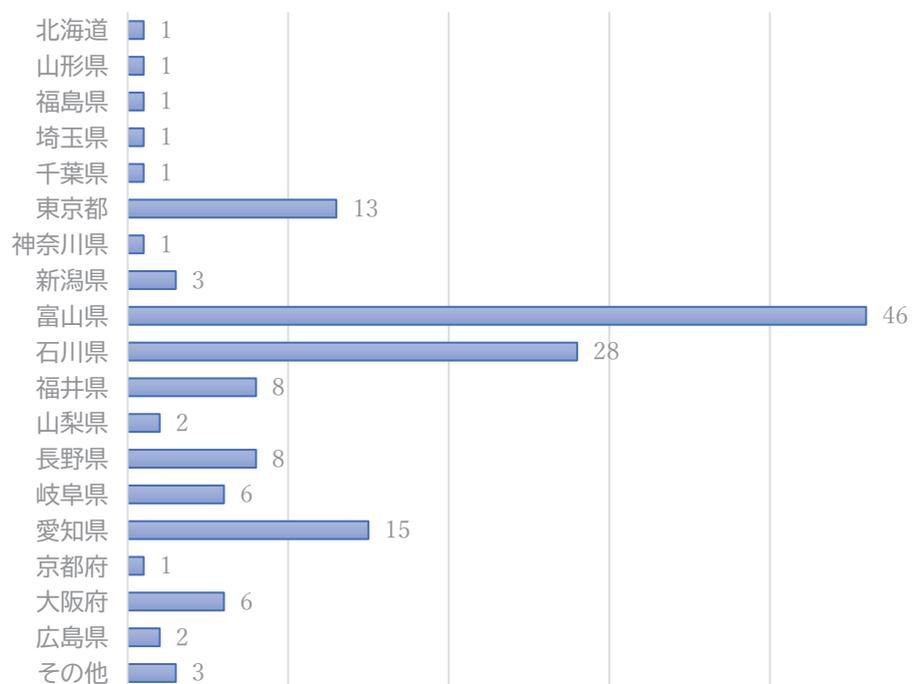
回答数：147 件

1. アンケートにお答えいただいている方の人事採用への関与度について、ご回答ください。

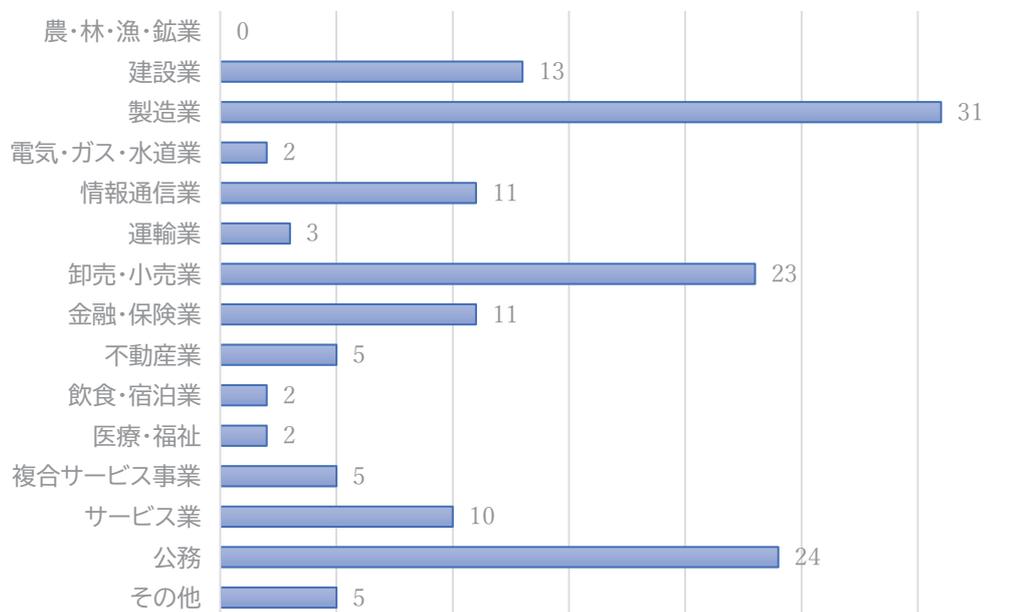
採用の決裁権があり，選考に関わっている	31
採用の決裁権はないが，選考に関わっている	97
採用時には直接かわらず，情報や意見を収集，提供する立場にある	19



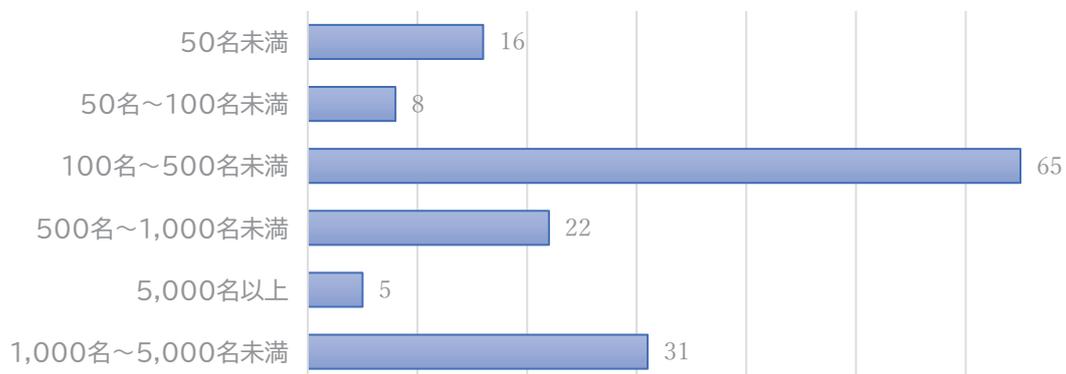
2. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について，都道府県名をご回答ください。



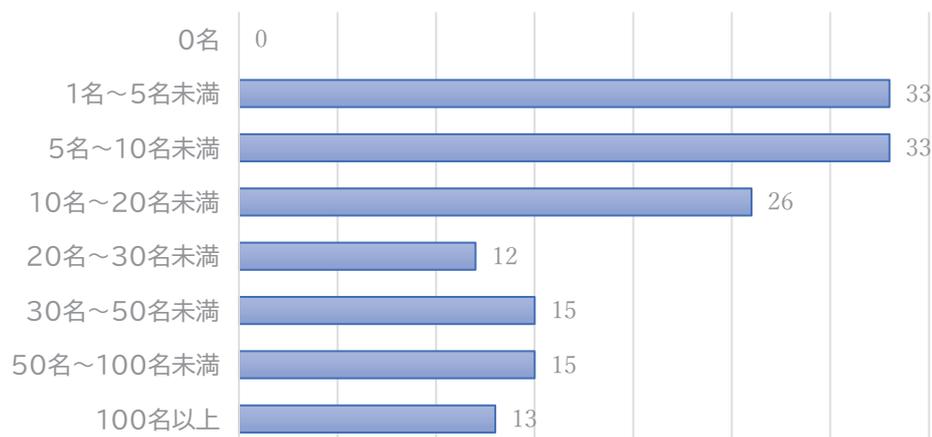
3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。



4. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。



5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、ご回答ください。

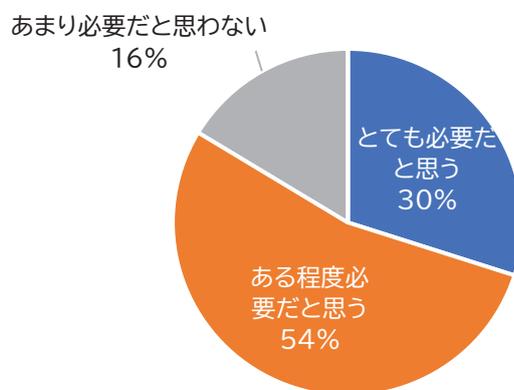


6. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。（あてはまるものすべてを選択）

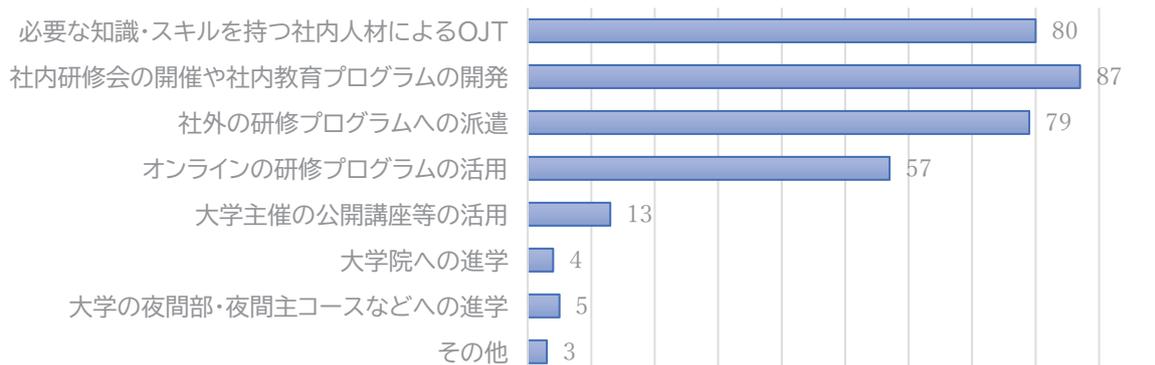


7. 貴社・貴団体における正規社員の「学び直し」（リカレント／リスキリング）の必要性について、ご回答ください。

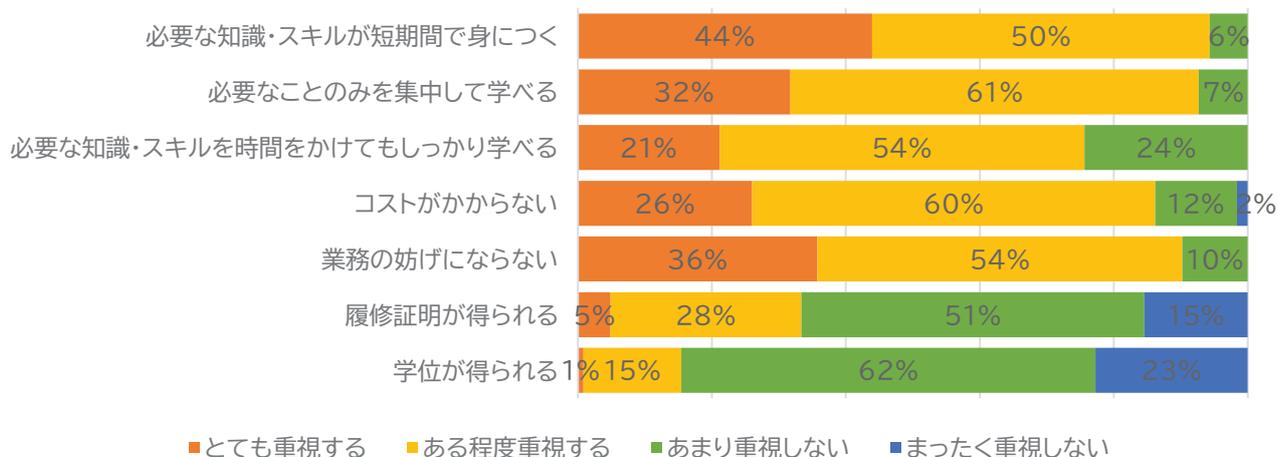
とても必要だと思う	44
ある程度必要だと思う	79
あまり必要だと思わない	24
まったく必要だと思わない	0



8. 貴社・貴団体において正規社員の「学び直し」（リカレント／リスキリング）を行う手段はどのようなものですか。（あてはまるもの3つまで選択）

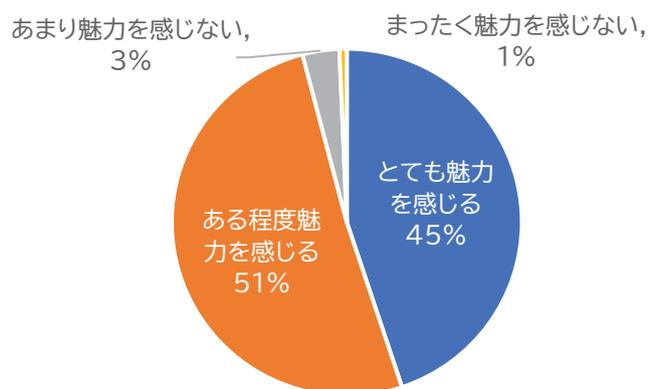


9. 貴社・貴団体において正規社員の「学び直し」(リカレント/リスキリング)を行う手段を選ぶポイントについて教えてください。(あてはまる番号1つを選択)。



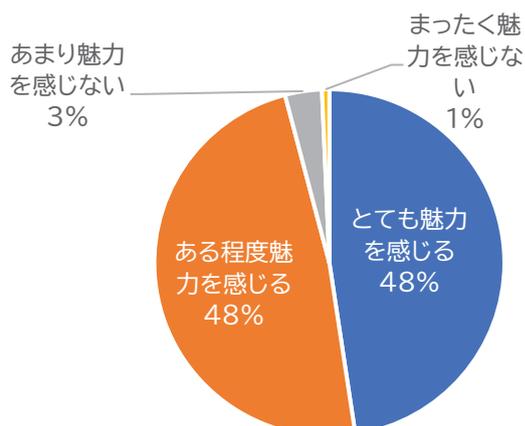
10. ①経済・経営・法律の3分野をまとめて1学科となるため、学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身につけることで、課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うことができます。

とても魅力を感じる	66
ある程度魅力を感じる	75
あまり魅力を感じない	5
まったく魅力を感じない	1
回答なし	0



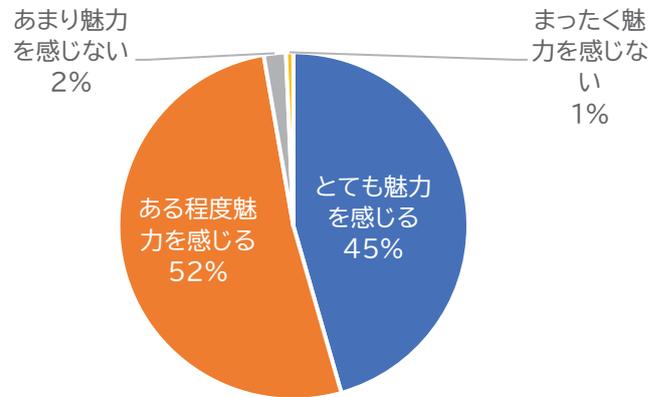
11. ②経済・経営・法律の3分野を学べる体制を維持したまま1学科のもと3つのプログラム(企業経営・公共政策・経済データサイエンス)に再編しますが、どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身につける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の知識を統合しデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身につけることができます。

とても魅力を感じる	70
ある程度魅力を感じる	71
あまり魅力を感じない	5
まったく魅力を感じない	1
回答なし	0



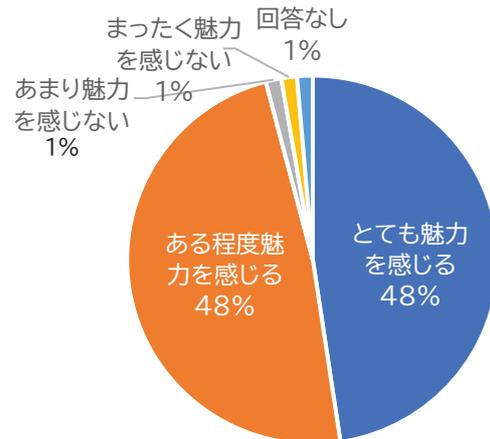
12. ③経済データサイエンスプログラムでは、より高度なデータサイエンスの知識・技術を身につけることができます。

とても魅力を感じる	67
ある程度魅力を感じる	76
あまり魅力を感じない	3
まったく魅力を感じない	1
回答なし	0



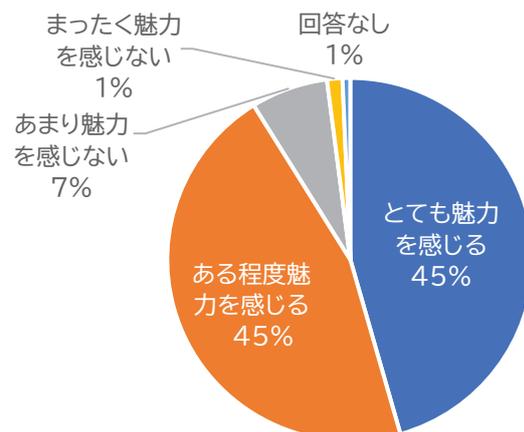
13. ①企業経営や経済活動に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、企業経営に関わる諸課題を解決できる人材。

とても魅力を感じる	70
ある程度魅力を感じる	71
あまり魅力を感じない	2
まったく魅力を感じない	2
回答なし	2



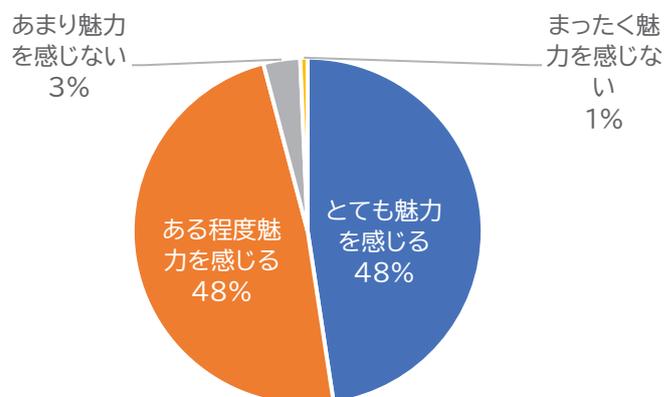
14. ②経済活動や法制度に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、公共政策の立案・実装に貢献できる人材。

とても魅力を感じる	67
ある程度魅力を感じる	67
あまり魅力を感じない	10
まったく魅力を感じない	2
回答なし	1



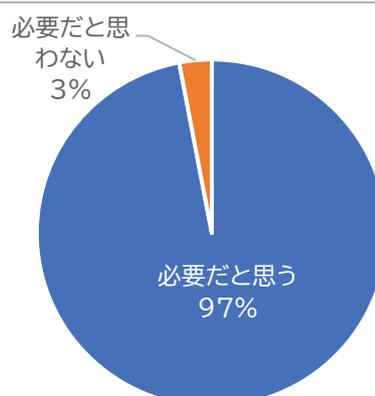
15. ③データサイエンスの専門的能力を備え、企業経営や公共政策の意志決定に直結する応用力を身に付けた人材。

とても魅力を感じる	70
ある程度魅力を感じる	71
あまり魅力を感じない	5
まったく魅力を感じない	1
回答	0



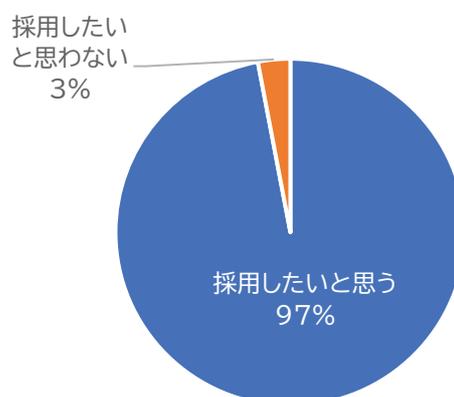
16. 貴社・貴団体は、富山大学「経済学部経済経営学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。

必要だと思う	143
必要だと思わない	4



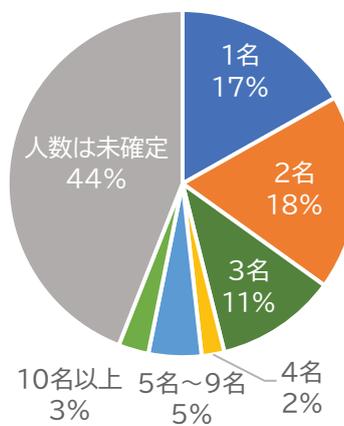
17. 貴社・貴団体では、富山大学「経済学部経済経営学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。

採用したいと思う	143
採用したいと思わない	4



18. Q13 で「1. 採用したいと思う」と回答された方にお尋ねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。)

1名	24
2名	26
3名	16
4名	3
5名～9名	7
10名以上	4
人数は未確定	63



富山大学 経済学部経済経営学科 (仮称) に関するアンケート

富山大学では、令和6年(2024年)4月に「経済学部経済経営学科」(仮称)を設置することを構想しています。このアンケートは、採用ご担当者の皆様から、必要とする人材像や採用に関する考え方などの意見をお伺いし、富山大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。アンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、貴社・貴団体を特定することは一切ありません。ぜひアンケートへご協力をお願いいたします。

※本アンケートや同封した資料に記載されている「経済学部経済経営学科」(仮称、設置構想中)に関する事項は、すべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

* 必須

1. 貴社・貴団体についてお伺いいたします。

1. アンケートにお答えいただいている方の人事採用への関与度について、ご回答ください。 *

- 採用の決裁権があり、選考に関わっている
- 採用の決裁権はないが、選考に関わっている
- 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をご回答ください。 *

3. 貴社・貴団体の業種について, ご回答ください。*

- 農・林・漁・鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 不動産業
- 飲食・宿泊業
- 医療・福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- 公務
- その他

4. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。*

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満
- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、ご回答ください。*

- 0名
- 1名～5名未満
- 5名～10名未満
- 10名～20名未満
- 20名～30名未満
- 30名～50名未満
- 50名～100名未満
- 100名以上

6. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。（あてはまるものすべてを選択）*

- 経済・経営・商学系統
- 法学系統
- 社会学系統
- 国際関係学系統
- 語学系統
- 文学系統
- 教員養成・教育学系統
- 生活科学系統
- 芸術学系統
- 総合科学系統
- 看護・保健学系統
- 医・歯・薬学系統
- 情報学系統
- 理学系統
- 工学系統
- 学部や学問系統にはこだわらない
- その他

2. 貴社・貴団体における「学び直し」についてお伺いいた

7. 貴社・貴団体における正規社員の「学び直し」（リカレント／リスキリング）の必要性について、ご回答ください。

*

- とても必要だと思う
- ある程度必要だと思う
- あまり必要だと思わない
- まったく必要だと思わない

8. 貴社・貴団体において正規社員の「学び直し」（リカレント／リスキリング）を行う手段はどのようなものですか。（あてはまるもの3つまで選択）*

最大3個のオプションを選択してください。

- 必要な知識・スキルを持つ社内人材によるOJT
- 社内研修会の開催や社内教育プログラムの開発
- 社外の研修プログラムへの派遣
- オンラインの研修プログラムの活用
- 大学主催の公開講座等の活用
- 大学院への進学
- 大学の夜間部・夜間主コースなどへの進学
- その他

9. 貴社・貴団体において正規社員の「学び直し」（リカレント／リスキリング）を行う手段を選ぶポイントについて教えてください。（あてはまる番号1つを選択）*

	とても重視する	ある程度重視する	あまり重視しない	まったく重視しない
必要な知識・スキルが短期間で身につく	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
必要なことのみを集中して学べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
必要な知識・スキルを時間をかけてもしっかり学べる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コストがかからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
業務の妨げにならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
履修証明が得られる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学位が得られる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

富山大学「経済学部経済経営学科（仮称）」についてお伺いいたします。

富山大学では、令和6年（2024年）4月に現在の経済学部「経済学科」「経営学科」「経済法学科」の3学科を1学科に改編して、新たに「経済学部経済経営学科」（仮称）を設置することを構想しています。ここからは、添付している「富山大学経済学部経済経営学科の設置構想」を見てからお答えください。

10. ①経済・経営・法律の3分野をまとめて1学科となるため、学際的・分野横断的な学びを通じて幅広い知識を身につけることで、課題解決に対して新たな視点から柔軟に発想・創造する力を養うことができます。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

11. ②経済・経営・法律の3分野を学べる体制を維持したまま1学科のもと3つのプログラム（企業経営・公共政策・経済データサイエンス）に再編しますが、どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身につける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の知識を統合しデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身につけることができます。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

12. ③経済データサイエンスプログラムでは、より高度なデータサイエンスの知識・技術を身につけることができます。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

(引き続き特色についてお聞きします)

富山大学「経済学部経済経営学科」(仮称, 設置構想中)には, 以下のような人材を育成する3つのプログラム(企業経営・公共政策・経済データサイエンス)があります。貴社・貴団体にとって, これらのプログラムによって育成される人材についてそれぞれどの程度魅力

13. ①企業経営や経済活動に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、企業経営に関わる諸課題を解決できる人材。

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

14. ②経済活動や法制度に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、公共政策の立案・実装に貢献できる人材。

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

15. ③データサイエンスの専門的能力を備え、企業経営や公共政策の意志決定に直結する応用力を身に付けた人材。

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

16. 貴社・貴団体は、富山大学「経済学部経済経営学科」（仮称，設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。 *

- 必要だと思う
- 必要だと思わない

17. 貴社・貴団体では、富山大学「経済学部経済経営学科」（仮称，設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。 *

- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない

18. Q13で「1. 採用したいと思う」と回答された方にお尋ねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。（この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。） *

- 1名
- 2名
- 3名
- 4名
- 5名～9名
- 10名以上
- 人数は未確定

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

2024年4月開設予定
(設置構想中)

※予定であり、今後変更する
場合があります



2024年4月 経済経営学科 誕生

広く、深く、実践的に学ぶために

現在の**経済学部3学科**（経済学科、経営学科、経営法学科）
から**経済経営学科1学科**へと改組します

経済・経営・法律の3分野を学べる体制を維持したまま1学科のもと3つのプログラム（企業経営・公共政策・経済データサイエンス）に再編します

どのプログラムに所属してもデータサイエンスの素養を身につける教育プログラムを用意しており、社会科学分野の知識を統合しデータを分析・活用しながらビジネス・社会課題を解決する実践的な能力を身につけることができます

改組前

～3学科+履修コース制～

- 経済学科 履修コース（2年次選択）
- 経営学科
 - ・社会経済コース
 - ・企業経営コース
 - ・経営法務コース
- 経営法学科
 - ・地域公共政策コース
 - ・社会DSコース

改組後

～1学科+3プログラム～

- 経済経営学科
 - 企業経営プログラム
 - 公共政策プログラム
 - 経済データサイエンスプログラム
- (2年次にプログラムを選択)

カリキュラムの特色

- ▶ **入学後に専門分野を決定（レイトスペシャライゼーション）**
入学後1年間かけて経済学、経営学、法学、データサイエンスの基礎を学修した上で、2年次に興味関心のある専門分野や希望する進路に合わせてプログラムを選択します。
- ▶ **社会科学分野とデータサイエンス分野を複合的に学修可能な体制**
経済学部の学生全てが、経済学経済経営の専門性にに基づきながら、データサイエンスの知識・技能を活用する能力を身につけることで、複雑高度化した経済社会の問題解決に貢献できます。
- ▶ **文理融合教育**
経済学部と理学部で連携し、「地域創生環境学」などの既存の科目に加えて、データサイエンスやSDGsに関する新たな科目を設けます。これにより、文理融合教育の充実化を図り、幅広い知識が修得できます。

入学科・授業料（2022年4月現在）

入学科	授業料
282,000円	535,800円

(富山大学における授業料その他の費用に関する規則に基づく)

類似する大学

- ・信州大学経済学部
- ・滋賀大学経済学部

アクセス

五福キャンパス
〒930-8555 富山市五福3190
代表電話:076-445-6011

バス 富山きときと空港から富山駅まで約20分
富山駅[南口側]から約20分

市内電車 富山駅[南口側]から約15分

タクシー 富山きときと空港から約20分
富山駅[南口側]から約15分

車 北陸自動車道「富山西IC」から約15分
または「富山IC」から約20分



高岡キャンパス Takahashi Campus
〒930-8508 富山県高岡市
代表電話:076-625-9111

杉谷キャンパス Sugitani Campus
〒930-8505 富山県石川郡杉谷町
代表電話:076-445-6011

五福キャンパス Gofuku Campus
〒930-8555 富山市五福3190
代表電話:076-445-6011

経済学部 経営学部 経営法学科
人文学部 法学部
経済学部 経済学部
文学部 教育学部
理学部 理学部
工学部 工学部
デザイン学部 芸術学部

JR 富山駅南口「富山駅」停留所 約15分
富山地铁・市内電車2系統（大学前行）

「大学前」停留所 徒歩 約5分
五福キャンパス

プログラムの概要

2年進級時に3つのプログラムから学びたいプログラムを選択



入学試験時にはプログラム選択の必要は無く
志願者は全員「**経済経営学科**」を受験

入学後、1年次に「**社会科学**」と「**データサイエンス**」の基礎を必修で学修し、
2年進級時にプログラムを選択



1年間、入門的な科目を受講しながら、2年次から進みたいプログラムを選択することができる！

企業経営プログラム

経営学 × データサイエンス



企業経営や経済活動に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、企業経営に関わる諸課題を解決できる人材を育成します

進路

- ・大学院進学（人文社会芸術総合研究科）
- ・製造業のITサービス立案者
- ・マーケティングコンサルタント
- ・DX推進担当者

公共政策プログラム

経済学・法学 × データサイエンス



経済活動や法制度に関する専門知識の上に、データサイエンスの素養を持ち、公共政策の立案・実装に貢献できる人材を育成します

進路

- ・大学院進学（人文社会芸術総合研究科）
- ・DSの素養を持つ公務員
- ・金融機関の職員
- ・NPO法人の職員

経済データサイエンスプログラム

データサイエンス × 社会課題



データサイエンスの専門的能力を備え、企業経営や公共政策の意志決定に直結する応用力を身に付けた人材を育成します

進路

- ・大学院進学（持続可能社会創成学環）
- ・システムエンジニア
- ・データサイエンティスト
- ・AIエンジニア

経済学部経済経営学科の概要

- ▶ 1年次において**社会科学系**と**データサイエンス系**の科目を必修として学びます
- ▶ 2年次前期において、明確な人材の養成を目指した**3つのプログラムのうち一つを選択**します
- ▶ 2年次以降、社会科学の知識を体系化し、卒業研究を深化させるための**専門科目（基礎および発展）**を学びます
- ▶ 3・4年次には、自らのキャリアを見据えながら、専門科目に加え、**プログラムの枠を越えて領域横断的に学修**します



注目ポイント

広く、深く、実践的に学ぶための多彩な教育プログラム

～実践力養成型、課題探究型、文理融合型教育～

データサイエンス寄附講座

統計学等データサイエンスの基礎を学ぶ講座から地元企業とのコラボによる課題解決を行う実践的な演習を通して実践力を身につけます

多様な企業・官公庁による寄附講義

富山県、北陸財務局、日本証券業協会、野村證券、生命保険協会、北陸銀行、富山県中小企業診断協会等による実学を通じて、企業の経営課題や地域経済の課題に対する理解を深めます

文理融合教育

経済学部と理学部で連携し、データサイエンスやSDGsに関する科目の開講を通じて幅広い知識を修得します

